

埼玉県 臨床研修病院 ガイドブック 2017





Welcome to SAITAMA



■ 伸びゆく埼玉県

埼玉県は晴れの日が多く災害が少ない県です。全域が都心から約100kmの圏域に含まれ、圏央道の県内区間の全線開通や、北陸新幹線、北海道新幹線の開通などにより、交通の要衝としての立地優位性はますます高まっています。

また、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックではそれぞれ県内で競技が行われるなど、今後、世界的スポーツイベントが目白押しです。

チャンスに満ちた都市の魅力と、ゆとりある自然の魅力を併せ持つ埼玉県は、医学の研鑽の場としても、生活の場としても、とても魅力あふれる県です。

■ 高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在343の病院があります。(平成28年4月1日現在)

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域ごとに、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

■ 「埼玉県総合医局機構」が医師をバックアップ

埼玉県では、埼玉県医師会とともに「埼玉県総合医局機構」を立ち上げ、医師の確保・派遣と、キャリアステージに応じた医師支援に取り組んでいます。

医師を支援するため「研修資金の貸与」や「女性医師の復職支援」を実施するとともに、医師や医学生の交流会、見学会を開催し、地域医療に携わる医師の育成や人的ネットワーク形成のためのバックアップを行っています。

また、高機能のシミュレーター機器などを備えた「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」をさいたま新都心にオープンし、医療従事者のための高度な教育環境を提供しています。

INDEX 埼玉県臨床研修病院紹介 (保健医療圏別)



基幹型臨床研修病院

【南部保健医療圏】

- ① 川口市立医療センター 1
- ② 済生会川口総合病院 3
- ③ 埼玉協同病院 5
- ④ 戸田中央総合病院 7

【南西部保健医療圏】

- ⑤ 朝霞台中央総合病院 9
- ⑥ 国立病院機構 埼玉病院 11
- ⑦ 新座志木中央総合病院 13

【東部保健医療圏】

- ⑧ 春日部市立医療センター 15
- ⑨ 秀和総合病院 17
- ⑩ 春日部中央総合病院 19
- ⑪ 越谷市立病院 21
- ⑫ 草加市立病院 23
- ⑬ みさと健和病院 25
- ⑭ 三郷中央総合病院 27

【さいたま保健医療圏】

- ⑮ 埼玉メディカルセンター 29
- ⑯ さいたま市立病院 31
- ⑰ さいたま赤十字病院 33
- ⑱ 彩の国東大宮メディカルセンター 35
- ⑲ さいたま市民医療センター 37

【県央保健医療圏】

- ⑳ 上尾中央総合病院 39

【川越比企保健医療圏】

- ㉑ 小川赤十字病院 41
- ㉒ 関越病院 43

【西部保健医療圏】

- ㉓ 国立病院機構 西埼玉中央病院 45
- ㉔ 埼玉石心会病院 47

【利根保健医療圏】

- ㉕ 行田総合病院 49
- ㉖ 羽生総合病院 51

【北部保健医療圏】

- ㉗ 新久喜総合病院 55
- ㉘ 熊谷総合病院 57
- ㉙ 深谷赤十字病院 59



大学病院

【東部保健医療圏】

- ㉚ 獨協医科大学越谷病院 61

【さいたま保健医療圏】

- ㉛ 自治医科大学附属さいたま医療センター 63

【県央保健医療圏】

- ㉜ 北里大学メディカルセンター 65

【川越比企保健医療圏】

- ㉝ 埼玉医科大学病院 67



その他の臨床研修病院

【西部保健医療圏】

- ㉞ 埼玉医科大学総合医療センター 69
- ㉟ 埼玉医科大学国際医療センター 71

【西部保健医療圏】

- 防衛医科大学校病院



埼玉県総合医局機構～ KOBATON.med ～ 73

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院（防衛医科大学校病院を除く。）を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。

※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。



MAP

病院名	〒	所在地
① 川口市立医療センター	333-0833	川口市西新井宿 180
② 済生会川口総合病院	332-8558	川口市西川口 5-11-5
③ 埼玉協同病院	333-0831	川口市木曾呂 1317
④ 戸田中央総合病院	335-0023	戸田市本町 1-19-3
⑤ 朝霞中央総合病院	351-8551	朝霞市西弁財 1-8-10
⑥ 国立病院機構 埼玉病院	351-0102	和光市諏訪 2-1
⑦ 新座志木中央総合病院	352-0001	新座市東北 1-7-2
⑧ 春日部市立医療センター	344-8588	春日部市中央 6-7-1
⑨ 秀和総合病院	344-0035	春日部市谷原新田 1200
⑩ 春日部中央総合病院	344-0063	春日部市緑町 5-9-4
⑪ 越谷市立病院	343-8577	越谷市東越谷 10-47-1
⑫ 草加市立病院	340-8560	草加市草加 2-21-1
⑬ みさと健和病院	341-8555	三郷市鷹野 4-494-1
⑭ 三郷中央総合病院	341-8526	三郷市中央 4-5-1
⑮ 埼玉メディカルセンター	330-0074	さいたま市浦和区北浦和 4-9-3
⑯ さいたま市立病院	336-8522	さいたま市緑区三室 2460
⑰ さいたま赤十字病院	330-8553	さいたま市中央区新都心 1-5
⑱ 彩の国東大宮メディカルセンター	331-8577	さいたま市北区土呂町 1522
⑲ さいたま市民医療センター	331-0054	さいたま市西区島根 299-1
⑳ 上尾中央総合病院	362-8588	上尾市柏座 1-10-10
㉑ 小川赤十字病院	355-0397	比企郡小川町大字小川 1525
㉒ 関越病院	350-2213	鶴ヶ島市脚折 145-1
㉓ 国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狭 2-1671
㉔ 埼玉石心会病院	350-1323	狭山市鷓ノ木 1-33
㉕ 行田総合病院	361-0056	行田市持田 376
㉖ 羽生総合病院	348-8505	羽生市上岩瀬 551
㉗ 済生会栗橋病院	349-1105	久喜市小右衛門 714-6
㉘ 新久喜総合病院	346-8530	久喜市上早見 418-1
㉙ 熊谷総合病院	360-8567	熊谷市中西 4-5-1
㉚ 深谷赤十字病院	366-0052	深谷市上柴町西 5-8-1
㉛ 獨協医科大学越谷病院	343-8555	越谷市南越谷 2-1-50
㉜ 自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町 1-847
㉝ 北里大学メディカルセンター	364-8501	北本市荒井 6-100
㉞ 埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
㉟ 埼玉医科大学総合医療センター	350-8550	川越市鴨田 1981
㊱ 埼玉医科大学国際医療センター	350-1298	日高市山根 1397-1
㊲ 防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木 3-2



埼玉県内の臨床研修病院 MAP



1

川口市立医療センター

病院の概要

- 病床数 539床
- 医師数(研修医を除く) 135名(うち指導医数 50名)
- 研修医数 1年目 7名 2年目 12名
- 研修医の主な出身大学 日本大学・札幌医科大学・福島県立医科大学・新潟大学・信州大学・千葉大学・山梨大学
- 診療科 内科 消化器内科 血液内科 神経内科
呼吸器内科 腎臓内科 糖尿病内分泌内科 循環器科 小児科 精神科 外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科
小児外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 麻酔科
歯科口腔外科 リハビリテーション科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 1122名 ● 1日平均入院患者数 454名
- 主な認定施設 地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉(DMAT)指定病院



研修プログラムの特色

● 総合コース(募集定員12人)

社会的に強く望まれているプライマリ・ケアの基本的能力の充実のために、救急部門の研修を1年目に行い、一般臨床医に必要な緊急時に必要な基本手技を一層充実させる目的で、選択必修科目である外科、産婦人科、小児科、精神科を必修と位置づけています。

● 産婦人科コース(募集定員2人)

産婦人科の研修期間を、初期研修としては比較的長い4か月としています。また周産期医療の研修や麻酔科の研修も不可欠であるため、必修と位置づけています。これによって後期研修における産婦人科研修がより充実したものになると考えています。

● 小児科コース(募集定員2人)

NICUを含む小児科の研修期間を、初期研修としては比較的長い4か月としています。また全人的ケアが特に要求される小児科においては選択期間を長く設定し、幅広い知識と技術のみならず、人格の涵養にも役立つものと考えています。



プログラム例 総合コースプログラム(募集定員12人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科							救急	外科		小児科	
2年目▶	産婦人科	救急	精神科	地域医療	選択							

各コースとも研修1年目に救急部門2か月、研修2年目に精神科1か月、地域医療1か月の研修を行います。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：33.92万円/月 2年次：35.3万円/月
- 諸手当▶ 通勤手当、宿日直手当
- 保険▶ 社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 8時30分～17時15分
- 当直▶ あり(4回/月)
- 休暇▶ 2日/週
- 宿舎▶ あり(使用者負担2万円/月)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 【協力型臨床研修病院】
 - ・医療法人秀峰会北辰病院
 - ・医療法人高仁会戸田病院
- 【研修協力施設】
 - ・医療法人刀水会齋藤記念病院
 - ・医療法人健寿会北條胃腸科外科
 - ・医療法人時任会ときとうクリニック
 - ・国保町立小鹿野中央病院
 - ・川口市高齢者総合福祉センター「サンテピア」
 - ・本町診療所 ・安行診療所

当院のキーワード

当院の特徴

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフがー丸になって高度医療の充実に寄与しています。

診療科数29科（平成29年4月より心臓外科を新設し、29科に変更予定）539床を有し、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。

日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。



研修責任者から

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。当院は1日の外来患者数約1100名、入院患者数は約500名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院（基幹災害医療センター）も擁していることから、症例の豊富さは折り紙つきです。

指導医は数が豊富だけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。自主的かつ積極的に貪欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つ素晴らしい2年間が過ごせると確信しています。



研修責任者
國本 聡

先輩研修医から

初期研修の期間は大学から離れて一般病院で研修しようと思い、選択期間が長いこと、救命救急センターやNICUがあること、研修医数が少ないことを条件に当院を選びました。

実際に研修してみたところ、数多くの症例や手技を経験でき、かけがえのない仲間や信頼できる指導医の先生方に恵まれ、科と科の垣根を越えた、のびのびとした人間関係を築くことができました。また、急性期医療に興味があったので、多くの急性期医療の症例を見ることのできる当院で、非常に充実した研修を受けることができている。このような充実した研修を受けられる当院でぜひ一緒に学びましょう。



研修医2年目
平畑 佑輔

女性医師支援コーナー

- ・院内保育所の設置（時間外保育も対応）
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除あり
- ・育児短時間勤務も可能



連絡先

川口市立医療センター

庶務課庶務係 人事担当

〒333-0833 川口市西新井宿180番地

TEL 048-287-2525(代表) FAX 048-280-1566

E-mail 170.01005@city.kawaguchi.lg.jp

URL http://kawaguchi-mmc.org/

アクセス 埼玉高速鉄道線 新井宿駅から徒歩7分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受け付けています。

下記必要項目を明記の上、左記アドレスにメールにてお申し込みください。

【必要項目】・氏名 ・大学名 ・連絡先 ・見学希望日

・見学希望診療科（1～2科程度、必ず明記ください。）

・緊急連絡先（携帯電話の番号等）

・レジナビフェアでのブース説明を受けたことの有無

・当院での病院見学経験の有無（初めてか、2回目以降かでお答えください。）

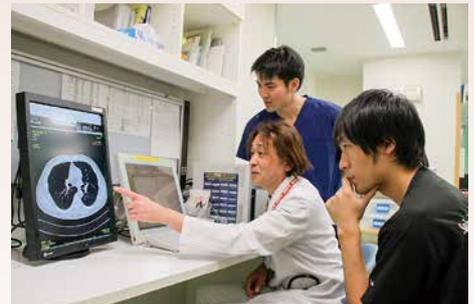
病院の概要



- 病床数 424床
- 医師数（研修医を除く） 137名（うち指導医数 55名）
- 研修医数 1年目 12名 2年目 12名
- 研修医の主な出身大学 愛知医科大学・秋田大学・旭川医科大学・岩手医科大学・金沢大学・北里大学・岐阜大学・杏林大学・群馬大学・高知大学・埼玉医科大学・佐賀大学・産業医科大学・島根大学・順天堂大学・昭和大学・信州大学・聖マリアンナ医科大学・千葉大学・筑波大学・帝京大学・東海大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・東京女子医科大学・東邦大学・東北大学・獨協医科大学・鳥取大学・新潟大学・日本大学・日本医科大学・浜松医科大学・福井大学・福島県立医科大学・北海道大学・三重大学・宮崎大学・山形大学・山梨大学・琉球大学（五十音順）
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 腎臓内科 糖尿病・内分泌内科 神経内科 腫瘍内科 放射線科 外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 血管外科 呼吸器外科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 麻酔科 小児科 精神科 リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科
- 1日平均外来患者数 1191名 ● 1日平均入院患者数 393名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、ISO9001：2008認定 など

研修プログラムの特色

厚生労働省より提示された必修項目を十分に研修できるよう配慮しています。また、当院のプログラムを通じて、研修医のプライマリ・ケア診療、救急医療、地域医療の基本が習得できるようにするとともに、患者・医師関係に重点を置き、全人的医療ができるように配慮しています。



プログラム 例 済生会川口総合病院臨床研修プログラム（募集定員12人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目▶	内科						外科			麻酔科		産婦人科	救急
2年目▶	小児科		救急	地域医療		選択							

- 必修科目9か月：内科6か月（消化器内科・循環器内科各2か月のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科から2か月選択）、救急2か月（救急外来での2か月間の研修のほか、日当直業務および各診療科ローテーション時の救急当番での研修を加えて、合計3か月間の研修とします。）、地域医療1か月
- 病院必修（7か月）：外科2か月、麻酔科2か月、小児科2か月、産婦人科1か月
- 選択科目（8か月）：上記「病院の概要」の診療科目のほか、地域保健から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院での研修となります。

研修医の処遇

- 給与▶1年次：36万円／月 2年次：40万円／月
賞与 1年次：10万円／年 2年次：20万円／年
- 諸手当▶当直手当、住宅手当、通勤手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険あり
- 勤務時間▶8時45分～17時
- 当直▶あり（4回／月）
- 休暇▶夏期休暇6日、有給休暇（1年次：12日 2年次：13日）
- 宿舎▶あり（世帯用も用意）
- その他▶健康診断2回／年、ワクチン接種

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・川口市消防局
- ・地域診療所
- ・訪問看護ステーションきゅうぼろ
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・岩手県済生会岩泉病院
- ・埼玉県川口保健所
- ・済生会特別養護老人ホーム彩光苑

当院のキーワード

地域の人々が生涯にわたって安心して暮らせるために

全国の済生会病院79病院の1つである当院は、昭和15年に開設以来70余年の歴史のある病院です。

基本方針としては、地域と一体となって患者のみならず住民の皆さんにとって「こちよいサービス」に努めることを主体に、高度先進医療や救急医療を実践し、質の高い安全、かつ安心できる医療を提供し、患者さんにはクリニカルインジケターなどを用い積極的に医療情報を開示するとともに、インフォームドコンセント/インフォームドチョイスを原則に、与える医療から患者参加型、もしくは患者選択型による医療をおこなっています。

病院は急性期一般病院で、424床を有し、平成17年には旧病院建物の現地建て替えを完了、MRI、CT、DSA、ESWL、RI、リニアックに加え、PET/CTや512列CTなどの最新医療機器を取り揃えた病院に生まれ変わりました。また、平成27年6月に地下1階地上3階の東館を増築し、3階部分を空中歩廊で結び本館・東館が一体化され、業務の効率化・保健医療の質の向上が図られています。東館へ移行したスペースの改修工事も完了し、ICU14床、NICUは3床→6床、GCUは2床→6床に増床となりました。

今後もより一層、ICU・救急・周産期部門の充実と、がん診療に力を入れていきたいと思っています。



研修責任者から

当院は荒川を境に東京都と接する埼玉県川口市に位置する地域中核病院です。平成17年に病院建物を一新し、PET/CTや512列CTをはじめとする最新医療設備を有する424床の病院として地域医療に貢献しています。

当院の医師数は初期研修医を含め常勤医師約140名で、多くの指導医は厚生労働省の開催指針に則った指導医講習会を受講しており、十分な指導ができる体制を確保しています。

当院での患者中心の医療を経験することにより、医師の優れた技術、看護師をはじめメディカルスタッフとのチームワーク、患者との信頼関係、医師としてのプロ意識などを体験し、臨床研修の2年間を通じて、プライマリ・ケアを中心に医師として最低必要な態度、知識、技術を身につけるよう努力してください。

できる限りの協力をいたします。



プログラム責任者・循環器内科主任部長
高木 厚

先輩研修医から

今まで出会った上級医の先生方はとても優しく、熱心に指導してください。また、メディカルスタッフや事務の方々もいつも丁寧かつ親切に対応してください。

初期研修先の病院を決める事は大きな決断だと思いますし、私も大変悩みましたが、今ではこの病院で研修ができて本当に良かったと感じています。

学生の皆さん、是非当院での初期臨床研修を検討してみてください。まだ見学に来られた事のない方は一度足を運んでみてください。きっとこの病院の良さが伝わると思います。

皆さんにお会いできる事を楽しみにしています。



研修医2年目
藤堂 龍一郎

女性医師支援コーナー

- ・産前産後休暇
- ・育児休業

連絡先

済生会川口総合病院

臨床研修室 久木田 篤史

〒332-8558 川口市西川口5-11-5

TEL 048-253-1551(代表) FAX 048-256-5703

E-mail kensyu@saiseikai.gr.jp

URL http://www.saiseikai.gr.jp

アクセス J R 京浜東北線西川口駅から徒歩10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受付
(申し込みは、当院HPより)

病院の概要

- 病床数 401床
- 医師数（研修医を除く） 67名（うち指導医数 50名）
- 研修医数 1年目 7名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 熊本大学・聖マリアンナ医科大学・埼玉医科大学・杏林大学・群馬大学・近畿大学・大分大学・日本医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 緩和ケア内科 神経内科 小児科 外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 精神科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 リウマチ科 臨床検査科 腎臓内科 血液内科 糖尿病内科 救急科 泌尿器科(人工透析) 緩和ケア外科
- 1日平均外来患者数 1025名 ● 1日平均入院患者数 302名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育病院、日本小児科学会専門医研修施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修認定施設、日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設



研修プログラムの特色

初期研修は、まず総合内科で4か月間一貫した指導を受け、その後内科、救急、外科、小児科、産婦人科、地域医療の研修を行います。
指導の体制は、屋根瓦方式をとっており、指導医の下、2～6年目の医師が日常的な相談にのり研修を行っています。さらに、看護師、医療相談員（SW）などのメディカルスタッフと一緒にカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添った医療を行う姿勢を身に付けます。



プログラム 例 埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム（募集定員7人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目▶	総合内科				内科			救急			外科		産婦人科
2年目▶	内科		地域医療		小児科		選択						

※必修項目：内科（6か月）、救急（3か月）、地域医療（1か月）

病院が定める必修項目（上記項目に加えて）：内科（2か月）、外科（2か月）、小児科（2か月）、産婦人科（1か月）

選択：内科、救急、地域医療、麻酔科、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：35.8万円/月 2年次：39.8万円/月
賞与年2回（2016年度実績3.5か月）
- 諸手当▶ 住宅手当、家族手当、当日直手当、年末年始勤務手当
- 保険▶ 社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 平日8時30分～17時、土曜8時30分～13時
- 当直▶ あり（4～5回/月）
- 休暇▶ 4週6休、夏期休暇、年末年始休暇、特別休暇（結婚、忌引きなど）
有給休暇（1年次：10日 2年次：12日）
- 宿舎▶ なし（住宅手当【月額5万円まで支給】）
- その他▶ 常勤採用 学会・研修会参加補助 院内保育所（病児保育）あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・熊谷生協病院
- ・秩父生協病院
- ・浦和民主診療所
- ・大井協同診療所
- ・さいわい診療所
- ・かすかべ生協診療所

当院のキーワード

当院の特徴

埼玉県の南部地域において、地域医療に力を注ぎ、地域の方たちとの保健予防活動、救急医療(2015年救急車搬入台数3,073台)、慢性疾患医療、リハビリ、在宅医療まで一貫した総合的医療を患者さんの立場にたって実践しています。診療圏は川口市、戸田市、蕨市、さいたま市を中心とした急性期医療を担う中核病院です。当院では、内科を中心に救急、小児科、外科、産婦人科、選択7か月のローテーション研修を行い、総合的な力量を身につけます。地域に密着した診療所(法人内)での地域医療も含め、プライマリ・ケアをしっかり学べます。また、疾病だけでなく、患者の生活背景や労働環境の問題にも目を向けた医療を行う医師養成を目指しています。

初期研修では、まず総合内科病棟から研修を開始し、基本的な診療スタイルを最初の4か月で身に付けます。バラエティに富んだ症例を経験し、症候から病気を捉えることができるようになります。また、高齢者は複数の疾患を持っていることが多く、総合的に診ることが必要です。主体的に治療を行うことで、基本的臨床能力を身に付けます。

当院の医局は、一つの部屋にすべての診療科が集まった総合医局です。そのため、診療科間の敷居が低く、研修医も各診療科へのコンサルテーションがしやすく、出身大学も様々で、医局全体で研修医を育てる雰囲気になっています。



研修責任者から

医師人生にとって初めの2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は開院以来、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。2011年に教育研修センター(SKYMET)を立ち上げ、生涯研修を見据えた全職種のための教育研修部門として、講演会や研修会を運営しています。初期研修から後期研修、その後の資格獲得やスキルアップなど、個々の医師のライフサイクルに合わせた援助が出来ると考えています。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。



研修管理委員長(病院長)
増田 剛

先輩研修医から

総合内科はチーム制を取っています。各チームには後期研修医が数名在籍しており、初期研修医の先生の指導に当たります。感染症・脳血管障害・代謝性疾患・心疾患など症例は多岐に渡り、非常に勉強になります。



指導医(7年目)
草野 賢次

(初期)研修医向けのレクチャーは1~2回/週あります。教育研修センター(SKYMET)主催で、他の施設から著名な先生方をお招きしての貴重な講演会が聴講できます。研修医を育てるといって熱心な病院です。レクチャーやカンファレンス、講演会から非常に多くのものを学ぶことができます。

一方で市中病院らしく手技も豊富に経験でき、バランスの良い研修ができたと思います。上級医の先生方やスタッフの皆さんが患者さんに対して真摯に向き合っており、退院後の生活にまで気を配る姿勢を身に付けることができました。

女性医師支援コーナー

当院では常勤医師の約30%が女性医師であり、その多くの医師が産・育をしながら活躍しています。

また内科、産婦人科、小児科、皮膚科の各部長は女性医師が担当しております。

短時間勤務制度(当直免除)や院内保育所、病児保育にも対応しながら、『誰もが安心して働ける職場』を目指して取り組んでいます。(http://www.skymet.jp/recruit/woman.php)

連絡先

埼玉協同病院

教育研修センター 市川大輔

〒333-0831 川口市木曾呂1317

TEL 048-296-5822(直通) FAX 048-296-8247

E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp

URL http://www.skymet.jp/

アクセス JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

●当院ホームページから見学申し込みフォームにてお申し込みください。

毎月研修説明会を予定しておりますので、ぜひご参加ください(事前申込み)。

病院の概要

- 病床数 492床
- 医師数（研修医を除く） 98名（うち指導医数 25名）
- 研修医数 1年目 8名 2年目 8名
- 研修医の主な出身大学 東京医科大学・東京女子医科大学・日本医科大学・聖マリアンナ医科大学・獨協医科大学・千葉大学・北海道大学・弘前大学 など
- 診療科 内科（糖尿病、内分泌） 消化器内科 循環器内科 神経内科 呼吸器内科 腎臓内科 泌尿器科 移植外科 救急科 小児科 外科 消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 眼科 心臓血管外科 形成外科 皮膚科 美容外科 耳鼻咽喉科 麻酔科 放射線科 緩和医療科 病理診断科 在宅医療部 メンタルヘルス科
- 1日平均外来患者数 1259.9名 ● 1日平均入院患者数 438.3名
- 主な認定施設 地域がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院 など



研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定している必修科目として内科系6か月、救急3か月、地域医療1か月、選択必修（小児、精神、産科、麻酔）3か月に加え、外科系3か月を必修とする基本プログラムにより、初期臨床研修到達目標の達成を図っています。また、選択期間を8か月とすることで、後期研修への移行が円滑に進むようなプログラムとなっています。

募集する研修医数を8名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。



プログラム 例 戸田中央総合病院初期臨床研修プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科系 6か月						外科系 3か月			救急科 3か月		
2年目▶	地域医療	選択必修 3か月				自由選択 8か月						

*内科系6か月（一般内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、+消化器内科又は循環器内科）外科系3か月（消化器外科、整形外科）救急科3か月 地域医療1か月

*選択必修3か月（産婦人科・精神科・小児科・麻酔科より2科以上選択）

*自由選択8か月（一般内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、小児科、消化器外科、呼吸器外科、泌尿器科、心臓血管外科、整形外科、緩和医療科、救急科、麻酔科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、病理診断科、産婦人科、精神科）

研修医の処遇

- 給与▶1年次：36万円/月 2年次：40万円/月
- 諸手当▶当直手当 など ※その他当院規程による
- 保険▶組合健康保険、その他各種保険
- 勤務時間▶9時～17時30分
- 当直▶あり義務当直（2回/月） 手拳当直（救急車初療・救急外来・CCU等）
- 休暇▶土曜午後、日曜・祝日、年末年始、夏季休暇 など
- 宿舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・戸田中央産院（戸田市）
※産婦人科領域
- ・戸田病院（戸田市）
※精神科領域
- ・永尾醫院（戸田市）
- ・辻川ホームクリニック（蕨市）
※地域医療領域

当院のキーワード

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド、ICU、CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約14.5件/日、約428件/月で大変忙しい病院ですが、Common Diseaseも非常に多く初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。その為、「研修医だから・・・」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の元、治療計画や手術、検査なども実践できます。更に、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。

その他、月1回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会が出た各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。

当院は1学年8名で全国より研修医が集まってきますが、初日から十年來の友達だったかの様に打ち解け、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。



研修責任者から

鉄は熱いうちに打てといいますが、臨床研修に臨む医師は多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一步を踏み出される事でしょう。

私たち研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を消すことなくきちんとした教育を行い後期研修への礎を築くことにあります。その為には私たち自身が教育するための質の向上を絶えず模索していかなくてはならないと考えております。研修医と指導医ともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる研修病院をつくっていきましょう。



プログラム責任者(副院長)
田中 彰彦

先輩研修医から

地域密着型の病院であるためCommon Diseaseを多く見ることができると考え、戸田中央総合病院を選びました。症例数も多く、多くの診療科が揃っているということもあり多彩な疾患を経験することができます。プライマリーケアはもちろん、入院患者においては治療方針を主体的に考えることもあるため、やりがいはあると思います。熱心に指導してくださる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。一般的に市中病院は手技が多いとの印象ですが、たしかに当院も手技をやる機会はかなり多く、1人1人の実力に応じてIVH挿入からオペレーターまで経験できます。また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。



研修医2年目
星 瞳

女性医師支援コーナー

戸田中央総合病院では働く女性の為に国内最大規模の200名受入れ可能な保育室を平成27年8月にリニューアルオープンしました。更に、院内には病児保育施設もあり安心して働くことができる環境作りをしています。

また、院内では常勤医の約21%にあたる24名の女性医師が働いています。



連絡先

戸田中央総合病院

臨床研修担当 遠藤・尾田

〒335-0023 戸田市本町1-19-3

TEL 048-442-1111(代表) FAX 048-433-4076

E-mail rinsyou-kensyu@chuobyoin.or.jp

URL http://www.chuobyoin.or.jp/

アクセス JR埼京線戸田公園駅から徒歩4分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

☆病院見学随時募集中☆

戸田中央総合病院では、病院見学を随時募集しています。

ご希望の方は氏名・大学名(学年)・見学希望日(第三希望まで)・見学希望科(第三希望まで)等を左記メールアドレスまでお送りください。

※詳細は当院ホームページをご参照ください。

病院の概要

- 病床数 326床
- 医師数（研修医を除く） 57名（うち指導医数 6名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 名古屋市立大学・岩手医科大学・高知大学・京都府立大学・宮崎大学・香川大学・東京医科大学・北里大学・帝京大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 腎臓内科 外科
呼吸器外科 消化器外科 小児外科 肛門外科 小児科 脳神経外科
整形外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
麻酔科 放射線科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 979名 ● 1日平均入院患者数 306名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、
日本外科学会専門医制度修練施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、
日本整形外科学会認定施設、日本救急医学会専門医指定施設 他



平成30年1月 新築移転に伴い、「TMGあさか医療センター」となります。

研修プログラムの特色

朝霞台中央総合病院における初期研修プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療を必須、外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から2科目を選択必修としています。最大12か月間は自由選択になり、2年目は将来専門にしたい診療科を中心に研修を組むことも可能です。募集定員を4名と少数数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけることができます。また、二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に二次救急医療を体験することができ、臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境だと思います。平成30年1月には新築移転し、新しく生まれ変わる最新鋭の設備の中で初期臨床研修という大事な時期をともに学び喜びを共有しましょう。



プログラム例 朝霞台中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急部門			必修選択		地域医療
2年目▶	自由選択科目											

※自由選択科目は、内科・救急・外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科より自由に選んで研修。

※選択必修は、外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科の2科目選択。

研修医の処遇

- 給与▶1年目：36万円/月 2年次：40万円/月
- 諸手当▶通勤手当、時間外手当、当直手当（1年次：1万円 2年次：2万円）
- 保険▶健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶9時～17時30分
- 当直▶希望制
- 休暇▶月～金曜日勤務（土日・祝日休暇）
有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶あり（単身用）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 戸田中央医科グループ
 - ・戸田中央総合病院（小児科）
 - ・戸田中央産院（産婦人科）
- 協力病院
 - ・東武中央病院（精神科）

当院のキーワード

当院の特徴について

朝霞台中央総合病院は年間4,569件の救急車を受け入れており、手術件数も年間3,653件です。地域医療に力を注いでおり埼玉県南西部地域において、非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の4科は県内トップレベルの診療実績があります。院内の行事も数多くあり、院内旅行・運動会といった場では、医師・看護師・医療技術部・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。院内サークル（バレーボール・フットサル・テニス・バスケットボール）があり、他部署の職員とも交流を深めています。業務終了後や休日は都内にすぐいける立地である為、休日を満喫することができます。

平成30年1月には、120床増床して446床の新病院へ新築移転を行いました。現在SCU・HCUは稼動していますが、新病院ではICU・CCUができ、緩和ケア病棟や小児病棟も新たに設置する予定です。手術室も現在は4室ですが、新病院では8室と倍になります。

新しく生まれ変わる最新鋭の設備の中で、充実した研修生活を過ごしてみませんか。



研修責任者から

朝霞台中央総合病院では情熱を持った研修医に、できる限り希望がかなう研修が行えるようプログラム作成を考えています。医療の主体は医師でなく、患者さんです。また、医師免許とは医師個人が取得した特権ではなく、患者さんのために精一杯働くという契約の中で行う医療行為を許可された免許だと考えます。このことを研修の中で自覚して取り組んで欲しいです。医療とは患者さんが中心で医師・看護師・医療技術部・事務職等、多岐にわたる職員が関わり協力する中で結果が求められます。チーム医療の中で医師は、常にリーダーとしての自覚・責任を持つことが大切です。この初期臨床研修期間にリーダーとしての素養を身に付けてください。また、医師の技能向上において知識以上に重要なのは実際の経験です。この2年間は、患者さんと接する中で多くの臨床経験を積んで将来の大きな飛躍につながる医師としての基礎を築いていきましょう。



プログラム責任者
飯田 惣授

先輩研修医から

研修先を決めるにあたって、規模が小さな地域の病院での研修に不安を感じる方もいるかと思います。朝霞台中央総合病院には様々な症例があり、研修医の人数的にもたくさん手技ができて充実した研修をすることができます。私がこの病院を選んだ理由のひとつに雰囲気よさがあります。朝霞台中央総合病院は中に入ると活気があり、スタッフ間の垣根は低く、明るく働きやすい雰囲気であることがわかります。平成30年1月には新病院になり、これからは研修内容だけでなく、設備面も充実したものになっていきます。また、医師としての基本的な行動や考え方、コミュニケーション能力などを養成する時期でもあり、人間力を養う場として朝霞台中央総合病院は最適です。楽しく充実した研修生活を過ごしてみませんか。是非当院に足を運び雰囲気を実感してみてください。



臨床研修医2年目
大沢 草宣

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の比率が25%であり、女性医師が活躍しています。当直業務は、体力面を考慮して希望制を採用しています。当直業務を希望する場合は、内科・外科・整形外科・脳神経外科での当直業務が可能です。また臨床研修医室には仮眠が取れるようにベッドやシャワーも整備しています。

24時間利用可能な保育室も完備しています。後期研修医になれば子育て支援の観点から、時短勤務で働くことも可能です。新病院では病児保育の対応も行い、安心して働くことができる環境になっています。

朝霞台中央総合病院は、女性臨床研修医を大歓迎します。是非、病院見学に来て下さい！！

連絡先

医療法人社団武蔵野会 朝霞台中央総合病院

総務課

〒351-8551 朝霞市西弁財1-8-10

TEL 048-466-2055(代表) FAX 048-466-2059

E-mail asaka_info@tmg.or.jp

URL http://www.asakadai-hp.jp

アクセス 東武東上線：朝霞台駅 徒歩3分 / JR 武蔵野線：北朝霞駅 徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院説明会（毎週随時募集中）

見学希望の方は、メールまたは電話で随時受け付けております。
※希望者は氏名・大学名（学年）・見学科目・希望日がありましたら、左記メールアドレスまでお送りください。見学時には研修医室などを見ることができ、病院イベントである納涼会（8月）キャンドルサービス（12月）も参加可能です。

病院の概要

- 病床数 350床
- 医師数（研修医を除く） 114名（うち指導医数 40名）
- 研修医数 1年目 10名 2年目 10名
- 研修医の主な出身大学 順天堂大学・埼玉医科大学・北里大学・滋賀医科大学・富山大学・慶應義塾大学・東邦大学・杏林大学・日本大学・東京女子医科大学・筑波大学・近畿大学・弘前大学・獨協医科大学・長崎大学
- 診療科 内科 緩和ケア内科 消化器内科 神経内科 循環器内科 呼吸器内科 小児科 外科 乳腺外科 形成外科 整形外科 リハビリテーション科 脳神経外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 呼吸器外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1066.5名 ● 1日平均入院患者数 329.3名
- 主な認定施設 日本内科学会専門医教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修関連施設、日本周産期・新生児医学会専門医制度指定施設



研修プログラムの特色

● 基本コース

1年目に8か月間各科1～2名程度で内科系研修を行います。救急外来では年間100例程度搬送されてくるCPAの初期対応からcommon diseaseまで幅広く初期対応を学びます。基本コースでは外科・麻酔科・産科・小児科が必修です。2年目は将来のことを考え、選択科目で研修ができます。選択期間が9か月と長いことも特徴です。初期研修が終わったら、1人で内科当直しても怖くない、と言えるくらいのレベルを身に付けられます。

● 小児科・産婦人科コース

小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっていきます。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。きめ細かい指導を特徴とし、大学病院の小児科・産婦人科コースにも負けない内容です。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

プログラム 例 基本コース（募集定員12人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科系								麻酔科		産婦人科	外科
2年目▶	救急	小児科	選択科目									地域医療

必修科目として内科系8か月、麻酔科2か月、産婦人科、外科、小児科は最短1か月の研修を必修とします。1年目は内科系8か月と麻酔科2か月で研修を行います。救急、産婦人科、外科、小児科は1年目または2年目の前半で研修します。救急研修については、救急外来での1か月の研修及びオリエンテーション後2年間の日当直（月4回として96～104回で3か月間に相当）で研修します。2年目に1か月間の地域医療研修を診療所等で実施し、9か月間を研修医自身が希望する選択科目に充てます。また、各科別プログラムとは別に全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修します。

その他 小児科・産婦人科コース（募集定員4人）

研修医の処遇

- 給与▶約39万円/月
- 諸手当▶通勤手当
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労働保険
- 勤務時間▶8時30分～17時15分
- 当直▶あり（4回/月）
- 休暇▶祝日、年末年始、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）
- その他▶健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・慶應義塾大学病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・清水医院
- ・天野医院
- ・志木北口クリニック
- ・東武中央病院
- ・東長野病院
- ・秩父市立病院、他

当院のキーワード

当院の特徴

- 当院は地域に根ざした中核病院として、国や埼玉県より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療地区拠点病院として指定を受けています。また平成27年10月より地域周産期母子医療センターに指定され、小児・周産期医療も推進しています。そして更なる機能向上のため、平成30年度に新築棟200床を開棟する予定です。現在職員一丸となって質の高い医療を行っております。
- 研修医は年1回実施される国立病院医学会や埼玉県医学会の参加のほか、月1回実施される地元医師会との合同カンファレンスや抄読会、症例検討会、各種勉強会に出席することができるなど、研修環境も充実しています。また、研修期間中半年に1回、研修担当責任者が面接を実施して研修状況を確認し、きめ細かい指導を行っています。
- 立地は都心からのアクセスも良好ですので、将来に備えて都内での講習会の参加が容易です。一度見学していただき、当院の雰囲気を感じて、自分の求める研修があるかを確認して下さい。やる気のある方大歓迎です。

研修責任者から

埼玉病院は、地域で中核となる公的病院として、地域医療を実践しています。救急の現場では、指導医とともに研修医が多くを学んでいます。また、当院には、埼玉県内でも有数の特徴ある診療科があり、選択研修の幅が広がっています。学術面は院内学会、国立病院学会での発表を通じて学会発表についても指導を受けます。指導医とともに全国で開催される学会に参加し、発表を経験することは貴重な経験となるでしょう。共通講義、抄読会、症例検討会その他の勉強も豊富です。このような環境で、積極的な姿勢を持ち、2年間の研修生活を仲間とともに過ごせば3年目以降の飛躍に役立つと信じています。



小児・産科センター部長/プログラム責任者
上牧 勇

先輩研修医から

埼玉病院で初期研修をして良かった。そう思える環境が埼玉病院には揃っています。

まず、研修医は少人数制であり、1人の研修医が上級医と接する時間は多く、実際に臨床で行われている医療を学び、実践することができます。手技に関しても積極的にやらせてもらえる機会が多く、指導を受けながら身になることができます。1学年10人前後ということもあり、研修医1年目と2年目の仲間もとても良いです。また、定期的に行われる抄読会や勉強会も多く、興味があれば学会発表も研修医の早い時期から経験することができます。

何よりコメディカルの方をはじめ、病院全体が温かい雰囲気であり、たくさんの職種の方に指導をしていただきながら、成長していく日々を実感しております。医局も総合医局ですので、他科の先生方にも気軽に相談することができます。

環境面でも平成22年に新棟が建ち、30年度には200床の増床を予定しておりますし、埼玉病院といってもすぐ東京ですので、都心からのアクセスも良好です。

是非一緒に働きましょう。お待ちしております。



研修医2年目
有居 真美

女性医師支援コーナー

当院では、産前・産後休暇、生理休暇、育児休業制度があるほか、セクハラ・パワハラに対しては相談窓口を設けて対応しており、相談員には電話のほかメールでも相談ができる体制を整えています。

また、女子更衣室にはシャワー室が完備されており、いつでも使用することができます。

連絡先

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

管理課 研修医事務担当者

〒351-0102 和光市諏訪2-1

TEL 048-462-1101(代表) FAX 048-464-1138

E-mail 209sy01@hosp.go.jp

URL <http://saitama-hospital.jp/>

アクセス 東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに7分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受け付けています。必要書類を左記住所まで郵送してください。詳しくはHPをご覧ください。

●埼玉病院説明会は3月と8月に開催予定です。

●埼玉病院facebookをご覧ください。

<https://www.facebook.com/>

埼玉病院-644568159012220/timeline

病院の概要

- 病床数 327床
- 医師数（研修医を除く） 50名（うち指導医数 12名）
- 研修医数 1年目 2名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 筑波大学・東邦大学・鹿児島大学・帝京大学・新潟大学
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 神経内科 小児科 外科
消化器外科 呼吸器外科 肛門科 整形外科 脳神経外科
皮膚科 形成外科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
麻酔科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 932.5名
- 1日平均入院患者数 286.7名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、日本循環器学会認定循環器研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会研修施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設（基幹施設）



研修プログラムの特色

内科系は、消化器・循環器・代謝内分泌・膠原病・アレルギー・血液・腎臓高血圧・呼吸器・神経等を含む広い領域での指導体制となっております。内科各領域で救急症例を積極的に受け入れております。また、外科系（消化器・一般・呼吸器・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・婦人科等）も同様ですので、内科系・外科系を通じて多くの救急症例を経験出来ます。さらに麻酔科研修でも救急医療の基礎を成す呼吸循環管理や臨床薬理の充実した指導を受けられます。また、小児科・産婦人科・精神科等も個々の研修医の希望に応じて柔軟に対応致します。

いずれにせよ、当院は研修医の受入枠を少なくしておりますので、研修医1人当たりの指導者数が多く、濃密な指導が保障されています。

さらに看護師・コメディカルスタッフ等、あらゆる職種のスタッフが丸となり研修を支援する体制が築かれています。



プログラム 例 新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム（募集定員3人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科（消化器・内分泌・血液・呼吸器・他）						救急（呼吸器外科・循環器内科）	地域医療	選択必修（※2）			
	新座志木中央総合病院									※1	※3	
2年目▶	選択科目（自由選択）											
	内科・循環器内科・外科・呼吸器外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・眼科・精神科・小児科・産婦人科・地域医療											

※1 地域医療：せおクリニック / 医療法人五麟会まちだ訪問クリニック / 朝霞台中央総合病院ドック健診センター

※2 選択必修：外科・麻酔科・小児科・精神科・産婦人科の中から2つ以上を選択（1科目1か月）

※3 小児科：戸田中央総合病院 / 産婦人科：戸田中央産院 / 精神科：東武中央病院

研修医の処遇

- 給与▶1年次：36万円/月 2年次：40万円/月
- 諸手当▶通勤手当
- 保険▶組合健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶9時～18時
- 当直▶要相談（1～4回/月）
- 休暇▶変則週休2日制、有給休暇（10日/年）
- 宿舎▶あり（住宅手当は病院規定による）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・戸田中央総合病院
- ・戸田中央産院
- ・東武中央病院
- ・まちだ訪問クリニック
- ・せおクリニック
- ・朝霞台中央総合病院ドック健診センター

当院のキーワード

当院の特色

埼玉県南西部80万人の医療圏における急性期中核病院として327床で運営しております。

思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な関係、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として皆様から「愛し愛される病院」を目指し、24時間救急体制で全力を尽くしております。

平成30年には、埼玉県第6次医療計画による基準病床数75床の増床認可を受け402床となり、地域密着型のより高度な医療を実践する事を目指しております。

また、当院は戸田中央医科グループ（TMG）に所属しており、臨床面においてもスケールメリットを生かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。



研修責任者から

当院は、地域の基幹病院として急性期から慢性期まで偏りなく全ての患者様に対応しており、初期研修の目的であるプライマリーケアを勉強出来ます。

また、内科以外の診療科を回っている時でも、希望すれば内科当直、CV研修等の手技も学べます。

採血・点滴当番等のDUTYがなく、他の研修医に気を使うことなく時間を使えます。

研修医に対して希望することは

- ①積極的かつ貪欲に経験を積むこと。
- ②患者・家族との対話とパートナーシップの構築。
- ③コ・メディカルとの協調性、チーム医療。
- ④医療の果たすべき社会的役割を認識すること。
- ⑤地域・病院の行事に積極的に参加すること。

以上ですが、2年間の初期臨床研修がストレスなく、充実したものになるようお互いに頑張りましょう。



副院長・プログラム責任者
松浦 直孝

先輩研修医から

当院初期研修医の魅力

病院見学に来た時にスタッフの皆様が優しく、職場の雰囲気が良かったので当院を選びました。

私達が実際に働いてみて感じた、研修の魅力は以下のようです。

- ①少人数制なのでプログラムが自由に組める。手技を多く経験出来るので成長が早い。勉強になる症例や手技がある時には、ローテーションではない他科の先生からも声を掛けてもらえるので勉強のチャンスが多い。
- ②各科の先生や看護師、コ・メディカルの方々との距離が近く、温かく研修医を迎えてくれるので働きやすい職場である事。
- ③雑務が少ないので、研修に専念する事が出来る。オンとオフがはっきりしており日中の研修が終わった後、夜は自分の勉強時間が作れる。
- ④救急研修については、3か月間の期間だけでなく、各科をローテーションしながら2年間を通して救急患者対応をするので、日々の成長を実感出来る。



研修医1年目
朴香花・土屋尚人

女性医師支援コーナー

子育てしながら働くことが出来る為に、24時間対応保育室を完備しております。

連絡先

新座志木中央総合病院

総務課 滝沢 信介

〒352-0001 新座市東北1-7-2

TEL 048-474-7211(代表) FAX 048-472-7581

E-mail s_takizawa@tmg.or.jp

URL http://www.niizashiki-hp.jp

アクセス 東武東上線志木駅から徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学随時受付中

病院の概要

- 病床数 363床
- 医師数（研修医を除く） 54名（うち指導医数 29名）
- 研修医数 1年目 7名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 日本大学・産業医科大学・東京医科歯科大学・
獨協医科大学・金沢医科大学・宮崎大学・
秋田大学・東海大学・琉球大学
- 診療科 内科 循環器内科 血液内科 呼吸器内科 神経内科
消化器内科 糖尿病・代謝内科 小児科 外科 消化器外科
乳腺外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 形成外科
皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
精神神経科 放射線科 病理診断科 麻酔科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 656名 ● 1日平均入院患者数 228.5名
- 主な認定施設 基幹型臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、
日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、
日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設



研修プログラムの特色

- (1) 選択必修科目及び選択科目は9か月の研修とし、選択する診療科については、重複も可能です。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し、研修管理委員会が決定します。
- (2) 地域医療は、診療所（外来診療、在宅、デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人養護施設等、多様な研修の組み合わせが可能となっています。
- (3) 救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できます。また、救急車同乗、小児救急平日夜間診療部への参画など、救急医療を重視しています。



プログラム例 春日部市立医療センター 研修プログラム（募集定員7人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科（呼吸器・神経・循環器・糖尿病）						救急部門			外科		
2年目▶	精神科	小児科	地域医療	選択科目（最小単位は0.5か月）								

※ 1年目…必修内科6か月、救急部門3か月、選択必修科目のうち外科3か月を必修科目とします

※ 2年目…必修地域医療1か月、選択必修のうち精神科、小児科1か月を必修科目とします

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：34.39万円/月 2年次：36.25万円/月
- 諸手当▶ 当直手当 2万円/回
- 保険▶ 政府管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険
- 勤務時間▶ 午前8時30分～午後5時15分
- 当直▶ あり（基本5回まで/月）
- 休暇▶ 土・日曜、祝祭日、年末年始、夏休、有給休暇 20日/年
- 宿舎▶ 住宅助成あり
※市内居住の場合、上限月額 4.5万円

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・ 医療法人 春明会 みくに病院
- ・ 日本大学医学部附属板橋病院
- ・ 独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院
- ・ 埼玉県春日部保健所

当院のキーワード

平成28年7月 新病院がオープンしました！

新病院は、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、地域がん診療連携拠点病院としての充実、強化のため、高精度放射線治療装置（リニアック）やがん細胞を見つけるPET-CT、SPECTなど最新の高度医療機器を導入、更新しています。

また、地震に強い耐震構造（積層ゴム62基・すべり支承35基・オイルダンパー8基）を採用して、災害対応機能の強化も図っています。

是非一度、見学に来てみてください。



研修責任者から

18年後の2035年医療問題が議論されています。当院でも高齢多死時代や高高度医療の到来を迎えようとしています。そんな中で今後医療を担っていく若い世代に期待しないわけがありません。

当院では多くの症例を経験することが可能です。同時にある程度の収入も見込めるため安心して臨床経験を積むことができます。

各診療科の垣根がなくコンサルトしやすい環境にあります。上級医師とのコミュニケーションも非常に取りやすいと感じます。同時にコメディカルとの会話・連携もスムーズに取れます。そのような理由で非常に働きやすい環境にあり、しかも施設は2016年7月に新築移転したばかりなので綺麗で機能的です。

自ら積極的に診療に携わりながら総合臨床医としてのスキルを身につけたい方はぜひ当院で一緒に働き・学び・楽しみましょう。多くの方々の見学をお待ちしています。



臨床研修管理委員長
河野 通

先輩研修医から

春日部市立医療センターはあらゆる疾患の救急患者を受け入れていますので、すべての分野において経験を積むことができます。

また研修医も10人前後と人数も少なく各ローテーションはほぼ1人で回るため多くの手技や先生方からのご指導を頂けます。自分から積極的に参加すればどんな手技でも経験でき、また先生方も丁寧に指導してくださるので、安心して手技が行えます。

平成28年7月から新病院になり、総合診療科や緩和病棟の新設など新たな試みを多く開始しています。最新の設備ときれいな病院で共に学んでいきましょう。



研修医1年目
神野 正航

女性医師支援コーナー

- 出産休暇制度、育児休暇制度等あり

《女性医師からのコメント》

男性が多い職場ですが、産前産後育休期間中も、周囲医師の方々の御支援をいただき、産後半年で無理なく常勤として復帰する事ができました。復帰後の職場も、忘れかけていた知識の再勉強の場として新患外来の枠をいただいたり、当直免除や勤務時間の短縮など御配慮いただき、女性医師にとっても働きやすい病院です。

また、ベテラン保育士による院内保育も完備され、多くの職員も利用しています。コメディカル含め、皆仲が良く楽しい雰囲気職場です。ぜひ一度、病院見学にいらして下さい。

(内科医師 細瀬尚子)



【院内保育所完備】

連絡先

春日部市立医療センター

総務課 総務担当 渡邊 正樹

〒344-8588 春日部市中央6-7-1

TEL 048-735-1261(代表) FAX 048-734-2471

E-mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp

URL http://www.kasukabe-cityhp.jp

アクセス 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時開催しております。
- 病院見学を希望される方は、まず左記担当までご連絡ください。

病院の概要

- 病床数 350床
- 医師数(研修医を除く) 46名(うち指導医数 25名)
- 研修医数 1年目 2名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 東北大学・金沢大学・新潟大学・東京女子医科大学・東京医科歯科大学・杏林大学 ほか
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 肝臓内科 腎臓内科 呼吸器内科 糖尿病内科 内分泌内科 神経内科 リウマチ科 人工透析内科 アレルギー疾患内科 内視鏡内科 外科 消化器外科 食道外科 肝臓外科 大腸外科 脳神経外科 整形外科 リハビリテーション科 呼吸器外科 泌尿器科 婦人科(健診のみ) 乳腺外科 眼科 皮膚科 形成外科 内視鏡外科 放射線科 放射線診断科 病理診断科 臨床検査科 救急科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 495名
- 1日平均入院患者数 188名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会 NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本医療機能評価機構認定病院(Ver.6.0)



研修プログラムの特色

内科系各科は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器科であり、腎臓内科は透析医療を含め長い歴史があり、本院とは別にクリニックを併設し関東随一の患者数である400名以上の患者さんに透析を行なっています。

循環器内科は救急医療とリンクしてinterventionを中心とした精力的・積極的なチーム医療を展開し、内分泌・糖尿病内科は一般糖尿病診療から多種臓器特異的疾患まで外来・コンサルテーションを中心に幅広く対応しています。

呼吸器内科では一般呼吸器診療から集中治療・緩和医療までの実践を行いつつ一般感染症診療、睡眠医療、抗がん治療から緩和医療まで取り組んでいます。

消化器内科は消化器外科協力のもと、内視鏡検査を中心に積極的に診療を行なっています。

外科系各科は消化器、血管、泌尿器、整形、脳外科であり、消化器外科では院長指導の下、ヘルニア日帰り手術から最難度の臍頭十二指腸切除術に至るまで精力的に対応しています。

血管外科では下肢静脈瘤日帰り手術からグラフト手術まで幅広く対応し、泌尿器科でも幅広く手術に対応しています。

整形外科では関節リウマチを中心とした診療から整形外科全般に渡り対応しています。

脳神経外科では脳梗塞、髄膜炎から脳血管疾患全般を主に対処し、精力的に脳外科手術を行っています。



プログラム例 卒後初期臨床研修プログラム(募集定員4人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						外科・麻酔科				救急	
2年目▶	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択							

◇必修

内科6か月、外科・麻酔科4か月、救急2か月、小児科1か月、精神科1か月、産婦人科1か月、地域医療1か月

◇自由選択8か月

内科、外科、整形外科、脳外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択

研修医の処遇

- 給与▶約35万円/月
- 諸手当▶通勤手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災適用
- 勤務時間▶9時~17時
- 当直▶あり(4回/月)
- 休診日▶日曜・祝日
- 休暇▶2回/週、有給休暇(10日/年)
- 宿舎▶あり 2.5万円/月

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・草加市立病院
- ・東京足立病院
- ・友愛記念病院
- ・成田レディースクリニック
- ・秀和透析クリニック

当院のキーワード

当院の特徴

患者さんにはもちろん、訪れたすべての「人にやさしい」そして「環境にやさしい」をコンセプトとする地域に開かれた病院を目指しています。シンボル空間としての「開放的なロビー」、自然の風を有効利用する「自然換気システム」、リハビリを促す「屋上庭園」などは、これまでの病院のイメージを超え、21世紀の病院にふさわしい“癒し”を感じさせる親しみある空間となっています。

それぞれの診療科では、優れた専門医が診療に当たっており、最先端の技術を有する専門家が最新の医療機器を駆使して高度な先進医療を提供しています。



研修責任者から

当院は東武スカイツリーライン沿線に位置する埼玉県春日部市にあります。埼玉県東部の地域医療を担う基幹病院の一つとして、きわめて活動的に医療に取り組んでいます。今までに築きあげた実績から地域住民の方々から信頼され、急性期医療、がん医療、緩和医療、健診センター業務まで幅広く展開し、より専門性が高く質の高い医療を提供できる急性期対応型病院として機能しています。2004年に新築された病院は常にメンテナンスが施されて美しく、最新医療機器や最新電子カルテシステムも備えています。病院は全職員が快適に仕事に取り組むことができる環境にあり、医師、看護師、コメディカルスタッフが一丸となって、実りあるチーム医療を習得し、展開しています。当院では、教育理念に従って、チームの中で患者さんの抱える精神的問題にも親身になって対応し、疾患については適切かつ迅速に診断・検査・治療計画を立てて遂行することのできる医師を育成しています。また、救急医療や地域医療にも貢献し、救急患者は原則断らず、指導医の下で研修医の救急患者対応教育も積極的に行っています。



副院長
桑原 道雄

先輩研修医から

初期研修医1年目の細谷龍作と申します。

当院の魅力は指導医の先生方、コメディカルの方々との距離感の近さです。初期研修医になり病院で働き出してみても本当にたくさんわからないことがあることに気づき不安な気持ちになったこともありましたが、そのようなときに指導医の先生ははととも親身に指導してくださいました。コメディカルの方々にも気軽な相談をとってもらいやすく、自分がたくさんの方々を支えられて初期研修ができていたことを実感できました。

また当院では内科、外科、麻酔科、救急科をバランスよくローテーションすることができ、自分が他科をまわっている際でも今までにまわった別の科の先生に相談しやすい環境です。

来年度当院で研修される先生方が当院の優しさに触れながら自分の目標とする医師に向かっていただけたら幸いです。



研修医1年目
細谷 龍作

女性医師支援コーナー

【院内保育室の設置】

現在30名以上のスタッフが保育室（キッズルーム【SHUUWA】）を利用しています。

安心して育児と仕事の両立ができるよう、365日、24時間体制で満3か月～小学校就学前までのお子さんを家庭的な雰囲気の中でお預かりします。一時保育や二重保育もOKです。

仕事と子育ての両立を支援するとともに「基本的な生活習慣を身につけ」、「人との関わり方」を育てる保育にあたります。



連絡先

秀和総合病院

総務課 滝沢君雄

〒344-0035 春日部市谷原新田1200

TEL 048-737-2121(代表) FAX 048-737-2903

E-mail takizawa-k@shuuwa-gh.or.jp

URL http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス 東武スカイツリーライン・東武野田線「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 随時、病院見学を受け付けております。希望の日程をご連絡ください。

病院の概要

- 病床数 404床
- 医師数(研修医を除く) 42名(うち指導医数 9名)
- 研修医数 1年目 3名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 東邦大学・日本医科大学・大阪医科大学・帝京大学
- 診療科 内科 外科 整形外科 呼吸器科 循環器科 消化器科 脳神経外科 形成外科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 婦人科 麻酔科 心臓血管外科 神経内科 糖尿病・代謝内科 放射線科
- 1日平均外来患者数 690名 ● 1日平均入院患者数 324名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本外科学会修練施設、日本消化器外科学会修練施設、日本整形外科学会研修施設



研修プログラムの特色

- 1、自由度の高いプログラム選択が可能です。
- 2、マンツーマン指導で「手技」を中心とした研修を行う事が出来ます。
- 3、救急医療から在宅医療・地域医療まで幅広く研修が可能です。心臓病センターでは虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)のカテーテル診断治療、不整脈治療(アブレーション)を多く学びます。救急隊との研修、保健所研修、地域診療所で病院を取り巻く地域医療を学びます。
- 4、入職後1か月はオリエンテーションで各部署を学びます。部署ごとの役割を知り、スタッフとの繋がりを作る事で「聞きやすい・話しやすい研修環境」を作ります。
- 5、当直回数は、月2回。日中の研修を中心に研修を進めていきます。



プログラム 例 初期研修医プログラム(募集定員6人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	オリエンテーション	内科(内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科)					救急(救急外来・麻酔科)			選択必修※		
2年目▶	地域医療	選択科目(内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・外科・整形外科・心臓血管外科・脳神経外科・麻酔科・泌尿器科・皮膚科 など)										

※掲載プログラムは、1例です。

※自由度の高いプログラム構成が可能です。

※選択必修科は精神科、産婦人科、小児科、外科、麻酔科の5科目のうち2科目選択(各1か月)、自由選択科は最大11か月

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次:約42万円/月 2年次:約45万円/月
- 諸手当▶ 当直手当(1万円/回)
- 保険▶ 社会保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
- 勤務時間▶ 平日9時~17時、土曜日 9時~13時
- 当直▶ あり(2回/月) 17時30分~翌9時
- 休暇▶ 日曜日、祝祭日、年末年始(12月30日午後~1月3日)、有給休暇(1年次:10日 2年次:11日)、特別休暇(慶弔休暇等病院規定による)
- 宿舎▶ あり(費用の50%を病院が負担)
- その他▶ 学会出張費(当院規定により支給)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・板橋中央総合病院
- ・新松戸中央総合病院
- ・新越谷病院
- ・越谷市立病院
- ・順天堂越谷病院 他

当院のキーワード

研修医 一問一答

教えて！春日部中央総合病院はどんなところ？

- Q. 病院を一言で表すと？
A. アットホームな雰囲気です。
- Q. 当院の研修プログラムの特徴を教えてください。
A. 自由選択期間が11か月間ある為、自分に合ったプログラムが組みます。実践的な「手技」に積極的に挑戦できるのも特徴ですね。
- Q. 入職直後に、1か月間のオリエンテーションがありますが、どのようなことをされたのですか。
A. 看護部・薬剤部・検査科・放射線科を1週間ずつ回りました。
さまざまな部署で実習を行うことで、各科の職員と顔見知りになり、ディスカッションがしやすくなりました。
- Q. 当直はどのくらいの頻度ですか？（週に〇回、月に〇回など）
A. 月2回以上で、内科系と外科系のどちらかに入ります。その時の研修科目によって当直に入る回数を変えています。
- Q. 病院外での他部署との関わりはありますか？
A. 院内のクラブ活動が充実しています。バレーボールやバドミントンなどに参加し、多職種と交流を深めながら息抜きをしています。



研修責任者から

当院での初期研修の2年間
は基本的知識、技術、態度を身
につけるための重要な時期で
す。将来どの診療科に進もうと
プライマリ・ケアができること
が必須であり、そのために様々
な疾病を経験する必要があります。



臨床研修管理責任者
柳澤 良三

春日部中央総合病院群職臨床研修プログラムでは、
近隣施設、IMS（イムス）グループと連携して、研修
医の指導を行っている為、Common DiseaseからRare
Caseまで経験可能です。春日部中央総合病院で、医師
としての重要な第一歩を踏み出して頂ければと思いま
す。

先輩研修医から

春日部中央総合病院に興味を持ったのは、行き届
いた指導をしていただけそうだと感じたからです。
大学を卒業し研修医となると、医学生の時とは違
い、医師として自分で考え、行動することが求めら
れます。しかし、最初からできるはずありません。
上級医や先輩研修医からのアドバイスや自ら学んだ
ことを蓄積し、医師としての知識・手技・心構えな
どを成長させることが、初期研修であると考えています。面倒見の良い
指導医や上級医が多くいますし、IMSグループ内の他の研修医とも切磋
琢磨して成長していける環境があります。

当院のプログラムは、個人個人に合わせたプログラムを組むことが可
能であり、様々な症例を学ぶことができます。あなたも当院で
研修医のスタートを切って、自分自身の理想とする医師像に
向かってみませんか？



研修医1年目
谷口 賢哉

女性医師支援コーナー

春日部中央総合病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備
しています。また、院内保育所も完備するなど、女性職員が育児しながら働く場の提供を積極的に行っています。
「埼玉県子育て応援企業」として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

連絡先

春日部中央総合病院

臨床研修事務担当 山下 充男

〒344-0063 春日部市緑町5-9-4

TEL 048-736-1222(直通) FAX 048-738-1559

E-mail jinji@kasukabechuo.com

URL http://www.kasukabechuo.com/

アクセス 東武スカイツリーライン「一ノ割駅」から徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けております。
臨床研修事務担当まで電話、メールもしくはホームページよりお問い合わせください。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

病院の概要

- 病床数 481床
- 医師数（研修医を除く） 71名（うち指導医数 19名）
- 研修医数 1年目 5名 2年目 5名
- 研修医の主な出身大学 和歌山県立医科大学・北京大学・滋賀医科大学・東邦大学・久留米大学・東京女子医科大学・順天堂大学・金沢大学・愛媛大学・山形大学 など
- 診療科 内科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1011名
- 1日平均入院患者数 337.6名
- 主な認定施設 日本内科学会教育関連病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本脳卒中学会認定専門医研修教育病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設
小児科専門医研修施設



研修プログラムの特色

研修内容は、厚生労働省の卒後研修要綱に準じた2年間の総合診療方式です。そして、研修医の将来における希望に応じて、11か月間選択した診療科での研修を行うことができ、より充実した研修を可能とする構成となっています。

また、募集人員が8名と少人数制で、マンツーマンでの研修が行われ、診療や各種手技も積極的に取り組んでいただいています。

さらに、当院内での研修のほか、希望者は自由選択期間に順天堂大学医学部附属順天堂医院、練馬病院、浦安病院、順天堂越谷病院での研修も行っています。研修医の皆さんが充実した初期臨床研修生活を送れるよう指導体制も充実させています。



プログラム 例 越谷市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急部門		選択必修			選択診療科
2年目▶	救急部門	地域医療	選択診療科									

* 内科6か月（一般内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・神経内科より4科選択）、救急部門3か月（麻酔科含む）、選択必修3か月（一般外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科より2科選択）、地域医療1か月、選択診療科11か月

研修医の処遇

- 給与▶約35万円/月
- 諸手当▶当直手当
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時30分～17時
- 当直▶あり（5回まで/月）
- 休暇▶土、日、祝日、年末年始、有給休暇 20日/年、夏休 8日
- 宿舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都文京区）
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院（東京都練馬区）
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉県浦安市）
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院（越谷市・精神科）
- ・リハビリテーション天草病院（越谷市・地域医療）

当院のキーワード

当院の特徴

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。

また、平成25年6月には（財）日本医療機能評価機構より病院機能評価Ver6.0として更新の認定を受けました。

研修責任者から

越谷市は埼玉県東部に位置する人口約34万人の市です。都内へはもちろん、近隣県へもアクセスは便利です。平成28年1月で開院40周年を迎えました。当院の研修の特色は次の3点に集約できます。

- ①common diseaseが多数経験できること、
- ②基本的手技が身につくこと、
- ③選択期間11か月の間に臨床協力病院である順天堂大学での研修も可能であることです。

①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、common diseaseが多数経験できます。②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。③については、順天堂大学及び附属の分院での最新の医療の研修も可能であるということです。

埼玉県の医師数は人口10万人当たり約150人と最下位です。これから埼玉県にこそ医師としてのニーズが有るということです。当院の指導医は、協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者の御応募を期待しています。



臨床研修管理委員長
木下 恵司

先輩研修医から

当院のプログラムの特徴として、選択期間が長いことがあげられます。さらに順天堂大学の関連病院であるため、選択期間に希望すれば順天堂大学附属の各大学病院（御茶ノ水、浦安、練馬、越谷）での研修も可能です。私は2か月間、浦安病院で研修をさせていただきました。全ての選択期間を当院で研修する人もいれば半年ほど大学病院で研修する人もいて、個々の希望に応じて研修を受けることができます。

当院での研修としましてはcommon diseaseを中心とした多くの症例にも触れることができ、早くからCVカテーテル挿入などの手技も行うことができます。希望があれば外科ではCVポート植え込みや鼠径ヘルニアの執刀なども経験することができます。

研修医の出身大学や、研修後の進路なども多岐にわたっています。是非一度見学にいらしてください。お待ちしております。



研修医2年目
黒木 翼

女性医師支援コーナー

- ・院内保育室の設置
- ・短時間勤務制度
- ・産前、産後休暇／育児休暇制度

【院内保育室】



連絡先

越谷市立病院

事務部庶務課庶務担当 佐藤 和行

〒343-8577 越谷市東越谷10-47-1

TEL 048-965-2221(代表) FAX 048-965-3019

E-mail 10175100@city.koshigaya.saitama.jp

URL <http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/>

アクセス 越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「吉川駅北口（市立病院経由）」「総合公園行き」乗車約7分：南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約15分：新越谷駅東口からタローズバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約12分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時実施

病院の概要

- 病床数 380床
- 医師数（研修医を除く） 88名（うち指導医数 17名）
- 研修医数 1年目 10名 2年目 4名
- 研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学ほか
- 診療科 内科 血液内科 内分泌・代謝内科 膠原病内科 腎臓内科
呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 小児科 外科
心臓血管外科 整形外科 眼科 脳神経外科 皮膚科
泌尿器科 産婦人科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 精神科 救急科
- 1日平均外来患者数 907.4名
- 1日平均入院患者数 282.5名
- 主な認定施設 災害拠点病院、救急告示病院



研修プログラムの特色

研修の1年目は基本的には2か月ずつ、消化器内科＋腎臓内科、循環器内科＋膠原病内科＋内分泌・代謝内科、呼吸器内科＋血液内科、外科、麻酔科、救急科をまわります。2年目には必須各科と選択科7か月（その間に救急当直を20回以上）の研修をします。研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中であっても希望が変われば研修予定科の変更も可能です。通年制の研修としては、各科持ち回りのランチョンレクチャーや胸部X P読影、CT/MRI読影などがあります。

研修後の進路については自由ですが、当院で正規職員（地方公務員）としての身分で採用が可能です。また、東京医科歯科大学各科医局への入局の相談にも応じています。



プログラム例 草加市立病院臨床研修プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急	麻酔科		外科		
2年目▶	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	選択 救急当直（20回以上、1回/週）							

*精神科は東京足立病院で研修を行っています。

*地域医療はまるクリニックで研修を行っています。

研修医の処遇

- 給与▶1年次：32万円/月 2年次：34万円/月（諸手当除く）
- 諸手当▶住居手当、当直手当、通勤手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時30分～17時
- 当直▶あり（30～50回/年）
- 休暇▶夏期休暇：7月～10月（1年次：2日 2年次：4日）
有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・東京足立病院
- ・まるクリニック

当院のキーワード

当院の特徴

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約24万の街です。

当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も24科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。関連大学である東京医科歯科大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科・外科系・産婦人科・脳神経外科が連日当直しており、救急搬送は毎年約5,000件を受け入れています。



研修責任者から

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学の協力型病院として1年目2年目とも5人ずつ引き受けており、適切な人数での研修ができます。

また、常勤医師数は病床数（380床）に比べて多く、卒後7年目以上の指導医も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。

手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外来の手術は約800件、手術全体では約4,000件実施されています。

研修医のやる気と達成度により、消化器内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。



副院長
土屋 史郎

先輩研修医から

私が当院を2年間の研修先として選んだのは、教育体制の手厚さ、病院全体の雰囲気の良いに魅力を感じたからです。

当院は、各科のカンファレンスに加えて、全内科合同のカンファレンスを毎週行っています。全内科の先生方の前で発表し、質疑応答を行うため、下準備から発表本番まで生半可な気持ちでは臨めません。回数を重ねる毎にプレゼンの仕方が上達し、コンサルトや学会発表などに対する自信がきます。その他にも、診療部長直々のランチョンセミナー、レントゲン読影カンファレンス、講演会などを定期的で開催しているため、ローテート中の診療科に限らず勉強する機会が目白押しで手技も優先的に経験させていただけます。

そして、メディカルスタッフが非常に優しく、教育的です。私は当院を見学した際、直感で「この病院にしよう！」と決め、その選択は間違っていなかったと実感しております。



研修医1年目
内館 栞

女性医師支援コーナー

草加市立病院では心臓・脳血管センター5階に院内保育室を設置し、医療スタッフの0歳から就学前までの乳幼児を保育しています。



連絡先

草加市立病院

経営管理課 小林賢太郎・吉村泰将

〒340-8560 草加市草加2-21-1

TEL 048-946-2200(代表) FAX 048-946-2211

E-mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp

URL <http://www.soka-city-hospital.jp>

アクセス 東武スカイツリーライン草加駅から徒歩18分、バス5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受入可能（事前予約）

病院の概要

- **病床数** 282床
- **医師数（研修医を除く）** 40名（うち指導医数 18名）
- **研修医数** 1年目 5名 2年目 4名
- **研修医の主な出身大学** 近畿大学・岐阜大学・和歌山県立医科大学・中国医科大学・東海大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・鳥取大学・日本医科大学
- **診療科** 内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科 リウマチ科 小児科
外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 肛門外科 婦人科
眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 精神科 リハビリテーション科 麻酔科
消化器外科 救急科 病理診断科
- **1日平均外来患者数** 650名 ● **1日平均入院患者数** 220名
- **主な認定施設** 救急指定・第二次救急医療病院群輪番制病院、日本内科学会認定教育施設認定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定内分泌代謝科認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

**研修プログラムの特色**

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん青壮年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。

**プログラム 例** 地域医療総合 地域中核型プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	オリエンテーション+総合内科				外科		整形外科		救急科		総合内科	
2年目▶	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	内科系選択					選択科		

内科11か月（1年次必修：導入期研修4か月+2か月、2年次必修：5か月）、救急3か月（2か月+当直1か月※当直1か月は他科研修期間も含め週に1回程度実施）、外科2か月、整形外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月、地域医療1か月、自由選択3か月（前述の各科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、病理科、ICU、PCU、診療所など）

研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：32.4万円/月 2年次：37万円/月 ※研修手当を含む
※賞与年2回
- 諸手当▶ 当直手当、家族手当
- 保 険▶ 東京医業健保組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険完備、別に法人独自の共済制度あり
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当 直▶ あり（5回まで/月）
- 休 暇▶ 毎月4週6休、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿 舎▶ 希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
- その他▶ 上記以外も法人規定による各種手当（学会参加手当など）あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 松戸市立病院
- ・ 東京女子医科大学病院東医療センター
- ・ みさと協立病院
- ・ グループ内医療機関多数

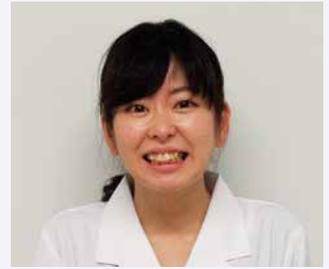
当院のキーワード

私が初期研修先を選んだ理由

はじめまして。私はもともと小児科希望でしたが、自分が小児科医の道を進む前に、研修において自分は何を学びたいかを考えたときに、地域に密着したCommon Diseaseを診断できるようになりたい・学びたいと思いました。

そういったことを考えている時にみさと健和病院を見学させて頂いて、地域に密着した病院にも関わらず、先生方が総合内科として様々な疾患を診てらっしゃることに驚きました。そして上の先生からの指導が行き渡ったチームで患者さんを診ていることや、教育回診や熱心に指導して下さるカンファをみさせていただき、こんなに指導して下さる病院は他にないと思い、この病院で是非研修医として働きたいと思いました。

私は四国出身で、大学は関西だったので、初めて関東に出てきて慣れない環境で戸惑うことも多くありますが、2年後にたくさん学べた研修医生活だったと言えるように、日々頑張っています。



研修責任者から

私たちは初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修の指定を受けましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もそのひとりです）。当時大学病院などの大病院で初期



研修プログラム責任者
岡村 博

研修をおこなうことが主流である中、282床の病床数は最少であり、外来の研修や往診の研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたものと思います。2004年の新しい研修制度に移行した後も、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅していくプログラムを作ってきました。

どのような臨床医がよい医師なのかは、どのような臨床医が地域で必要とされているのかと表裏一体です。今回研修制度が再度変更されましたが、当病院の研修に対するspiritは普遍のものです。

当院の「地域中核型プログラム」に興味があればぜひ見に来てください。そして私たちと一緒に臨床研修をしませんか？

先輩研修医から

当院では総合内科に比較的長く籍を置き、みっちり基礎を叩き込まれます。実務を通して学ぶon the job trainingの良いところのみを残しながら、さらに総合内科医として長年経験を積んできた医師によるフィードバックや独自の教育回診によって深く実践的に学びます（教育回診はすごいですよ。是非一度見学を！私も見学で感銘を受け、当院での研修を決意しました）。



後期研修医2年目
岡本 健

本来ならば全ての医師が持つべきであるgenerality（そしてしっかりと習得出来ている医師は多くない）を集中的に学ぶことができる環境が当院には備わっています。もちろん簡単な疾患ばかり診ているわけではなく、稀な疾患もあれば高度な医療を要する疾患もあり、時にはより専門な医療が必要なため他科、他院に移ることを余儀なくされる場合もあります。こういう経験を通して疾患頻度を肌で感じることや、その中に潜む稀な疾患をどう診断するか、また専門的な医療を要すると判断し迅速に紹介することの重要性などを単なる知識ではなく“感覚”として習得することができるのです。これは将来内科・外科問わずどの科に進むにしても活きるものだと思いますが、特に総合内科に興味がある方にとっては何にも代え難い財産になると断言出来ます。

女性医師支援コーナー

- 院内保育あり、当直有無も応相談（初期研修医は除く）、勤務単位も応相談です。あなたに適した働きやすい環境をご相談ください。
- 院内保育…ここにこ保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。
- 病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりします。（感染症又は感染症疑いは除く）。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

連絡先

みさと健和病院

医局事務室 医学生担当

〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1

TEL 048-955-7171(代表) FAX 048-948-0007

E-mail gakusei@kenwa.or.jp

URL <http://gakusei.kenwa.or.jp/>

アクセス JR常磐線松戸駅からバス10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

卒後進路を考えるにあたり、全ては病院見学・実習から始まると思います。当院は平日随時・希望内容応相談・交通＆宿舍補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。

病院の概要

- 病床数 303床
- 医師数（研修医を除く） 32名（うち指導医数 11名）
- 研修医数 1年目 1名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 東邦大学・愛知医科大学・東京医科歯科大学
- 診療科 内科 循環器内科 心臓血管外科 脳神経外科 外科 整形外科 麻酔科
泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 胃腸科 リハビリテーション科
脳神経内科 放射線科
- 1日平均外来患者数 531名 ● 1日平均入院患者数 246名
- 主な認定施設 日本内科学会教育関連施設
日本麻酔科学会認定病院
日本循環器学会認定専門医研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医制度関連施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設



研修プログラムの特色

三郷中央総合病院のほかに研修を行う上尾中央総合病院、柏厚生総合病院、三郷ケアセンターはすべて関連施設となっています。また東邦大学大森病院、大橋病院においても総合的な研修が可能です。

豊富な症例を有し、地域密着型の充実した研修ができます。



プログラム 例 臨床研修プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科（必修）						選択必修			救急（必修）		
2年目▶							選択			地域医療（必修）		

※選択必修（外・麻酔・小児・産婦人・精神から2科目以上選択）

※選択（内・脳神経外・外・整形外科・循環器・心臓血管外・泌尿器・眼・放射線・耳鼻咽喉・形成外・皮膚・その他）

研修医の処遇

- 給与▶約45万円/月
- 諸手当▶住宅手当
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、
医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶9時～17時30分
- 当直▶あり（5回/月）
- 休暇▶1.5回/週 有給休暇10回/年
- 宿舍▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・東邦大学 大森病院
- ・東邦大学 大橋病院
- ・上尾中央総合病院
- ・柏厚生総合病院
- ・三郷ケアセンター

当院のキーワード

病院理念：愛し愛され信頼される病院

●「最先端機器導入による高度で専門性の高い医療をめざして」
当院は、救急医療や高度な医療から存在ケアまで幅広いニーズに対応し、地域に密着した医療サービスを提供している。急性期型の総合病院です。

多くの高度医療機器の整備、専門性の高い医療の充実を図り、地域の中核的役割を確固たるものにしていきます。

●平成28年12月にICUがオープンしました。



研修責任者から

当院がある三郷市は、埼玉県の南東部に位置し、東京都、千葉県に隣接しています。そのため、都心からのアクセスもよく、秋葉原からつくばエクスプレスを使えば最寄りの三郷中央駅まで約20分です。

病床数は約300床で、急性期から回復期、慢性期までのフォローを目的に、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟を兼ね備えています。研修医は上級医の指導をもとに、担当医として診療にあたり、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管、胸腔穿刺、胸腔ドレナージなどの手技も積極的におこなっています。

通常型のプログラムは、1年次に内科系（一般内科、循環器）6ヶ月、選択必修3ヶ月（救急）を研修します。2年次は地域医療1ヶ月とその他11ヶ月を選択研修します。外科系を主体とするプログラムもあります。研修開始時に2年間のスケジュールが決まっているのではなく、最初の6ヶ月が終了した時点で、病院のシステムや研修医自身の将来の進路に合わせて、その後の研修内容を決めており、個々の研修医のニーズに合った内容に変更可能です。現在、2名の研修医がおり、来年度も2名の学生が研修を希望しております。



研修管理委員長・副院長（内科）
内田 耕

先輩研修医から

医局の垣根が低く色々な科の先生にコンサルトしやすいのが魅力のひとつだと思います。また、医局と病棟も近くに位置しており、すぐに患者様のもとにも行け、逆に病棟で疑問を生じたときに、すぐに医局に調べに帰ることもできるので、とても研修医が働きやすい環境です。今は、まだ上級医の方々に助けられながら、なんとか日々の仕事をこなしています。

東邦大学で勉強する機会もあり、総合的な研修になると思います。

まずは、見学に来ていただき、当院の雰囲気を実感していただけたらと思います。



研修医2年目
安藤 翔

女性医師支援コーナー

- ・24時間保育の実施
- ・女性医師専用休憩室
- ・女性医師専用当直室

・保育室新築（平成28年4月竣工）▶



連絡先

医療法人 三郷中央総合病院

事務長 加藤守史、総務課長 齋藤貴之

〒341-8526 三郷市中央4-5-1

TEL ▶ 048-953-1321(代表) FAX ▶ 048-952-7279

E-mail ▶ m-soumuka@mchp.jp

URL ▶ http://mchp.jp/

アクセス ▶ つくばエクスプレス『三郷中央駅』より徒歩8分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。

病院の概要

- 病床数 395床
- 医師数（研修医を除く） 76名（うち指導医数 28名）
- 研修医数 1年目 6名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 慶應義塾大学・帝京大学・金沢医科大学・富山大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・広島大学・島根大学
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内分泌内科 神経内科 腎臓内科 心療内科 外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 心臓血管外科 神経精神科 リウマチ科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 病理診断科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1168名 ● 1日平均入院患者数 274名
- 主な認定施設 卒後臨床研修評価認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設、人間ドック検診施設機能評価認定施設、日本内科学会認定医教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会学会認定研修施設



研修プログラムの特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、研修医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身につけること、能動的に診断、治療を行える能力を培うことを目的としている。

1年次の内科では、呼吸器・循環器・膠原病・消化器・神経内科・内分泌・代謝・血液の内科4病棟をローテートし、すべての内科疾患を経験する。各病棟では、それぞれの専門医・指導医に指導を受け、最新の知識を学ぶ。

外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、すべてに専門医、指導医がいる。手術数が多いので、毎日手術にはいることも可能。

麻酔科では、気管挿管などの手術や全身管理を学び、知識と技術のある程度身につけたうえで救急を行う。

小児科、産婦人科、神経科、地域医療の研修について小児科では小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積める。また、地域医療では、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになっている。

プログラム例 埼玉メディカルセンター研修プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急			選択		
2年目▶	救急		地域医療		選択							

必修：内科 6か月 救急 3か月 地域医療 1か月

選択：14か月（外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、小児科、産婦人科、眼科、放射線科、神経精神科、麻酔科）

研修医の処遇

給与▶約35万円/月

諸手当▶通勤手当、当直料

保険▶JCHO健康保険、厚生年金保険、雇用保険

勤務時間▶8時30分～16時15分（月・金） 8時30分～15時15分（火・水・木）

当直▶あり（2～3回/月）

休暇▶2回/週、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）

宿舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・さいたま市立病院
- ・埼玉協同病院
- ・国立病院機構東埼玉病院
- ・埼玉神経センター
- ・岩崎内科クリニック
- ・大原医院
- ・登坂医院

当院のキーワード

当院の特徴

埼玉メディカルセンターは、政令指定都市「さいたま市」の中核病院として395床を有する急性期医療中心の病院です。一方、健診業務を行う健康管理センター、ならびに老人保健施設も併設しており、予防から介護まで幅広く行う施設として地域に貢献しております。

1968年に、当時の厚生省が臨床研修病院の指定基準を定めました。そのときから、当院はその基準を満たし臨床研修病院の指定を受け、以来若い医師の教育に携わってきました。また、43の学会などの施設認定を取得しており認定医、専門医を目指す医師たちを支えています。

そして、良い研修病院とはどういう病院だろう？と、常に指導医が自問し、臨床研修医委員会で検討しております。臨床の場では、技術、知識、態度が重要な要素ですが、シミュレーション・キットによる技術の修得、抄読会、CPC、カンファレンスへの参加、また指導医によるマンツーマンの教育などよりよい研修をめざしています。

初代院長の「和の精神」をモットーに職員一丸となったチーム医療で良質で、安心な、患者さん中心の医療を実現することが当院の目標です。

研修責任者から

卒後研修の2年間に皆様は医師としての基本的な診察能力、検査や治療の基礎的な技術、救急への対応などのプライマリ・ケアの能力を身につけるだけでなく、医師としての人格を涵養しなければなりません。

当院は43の学会の認定施設として、高いレベルの医療を提供してまいります。患者数が多いのでさまざまな症例を経験できるだけではなく、あらゆる診療科で専門医の指導がうけられます。検査や治療の手技も自ら行うことができますから、さまざまな技術を身につけられます。

また研修期間中に学会で症例報告をしてもらっており、自らの能力を高める方法を取得できると思います。

意欲ある皆様をお待ちしております。



プログラム責任者
吉田 武史

先輩研修医から

私は、できるだけ多くの診療科でプライマリ・ケアの能力を身に付けたいと思い、当院を選びました。

研修の最初は内科ローテーションを行い、基本的なスキルを身につけることができます。その後は自分の希望する診療科を自由に選ぶことができ幅広い能力を習得することが可能です。

また、当院はJR京浜東北線の北浦和駅から徒歩3分という恵まれた立地であり、患者数も多く、たくさんの症例数を体験することもできます。病院全体も最近改築されとても綺麗で、最高の研修環境になっています。少しでも興味があればぜひ一度見学にいらしてください。



研修医
石井 義隆

女性医師支援コーナー

- ・ 育児休業
- ・ 育児短時間勤務制度
- ・ 院内保育の設置



連絡先

埼玉メディカルセンター

総務企画課

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3

TEL 048-832-4951(代表) FAX 048-833-7527

E-mail main@saitama.jcho.go.jp

URL http://saitama.jcho.go.jp/

アクセス JR京浜東北線 北浦和駅から徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時病院見学を行っております。

当院のキーワード

プライマリ・ケアを学ぶ！豊富で多彩な症例！

人口128万人を有するさいたま市の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで、幅広い医療サービスを提供しており、common diseaseから学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。

内科は消化器、循環器、神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般消化器外科、血管外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術をしています。地域周産期母子医療センターを設置し、周産期医療、小児医療にも力を入れています。



研修責任者から

当院の特徴は救急医療を重視していること、急性期病院であること、がん診療連携拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急車受入れ台数は年間約6000台で、その多くは一次および二次救急の患者さんです。このように、当院はcommon diseaseの経験や、primary careにおけるminimum requirementの習得に適した環境です。また、初期臨床研修で最も重要な内科は循環器、呼吸器、消化器、神経内科など各部門が充実しており、若手医師の教育に熱心な指導医が多数います。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積み、医師としての基礎的診療能力や基本的姿勢、態度を身につけることができます。これまでの初期臨床研修の経験から、研修医が病院を活性化し、病院の診療能力をも向上させることを多くの病院職員が認識しており、研修医は病院の大切な一員となっています。医学生のみならず、さいたま市立病院で初期臨床研修を受けてみませんか。



臨床研修委員長/院長補佐兼外科部長
山藤 和夫

先輩研修医から

私がこの病院を選んだ理由はいくつかあります。ほぼ全ての内科・外科・マイナー科が揃っているこの病院はかなり魅力的でした。

また、2年次の選択期間が長いので、将来の進路として悩んでいる複数の科を重点的に、早めの時期に回ることができるのも理由の一つです。

実際に研修してみて感じたさいたま市立病院のアピールポイントはいくつもあるのですが、一番に思うことは、指導医の先生方と研修医の距離が近いこと、common diseaseを中心とした豊富な症例を、救急対応から入院業務まで行うことができること。特に救急外来でのファーストタッチに関わることで、自分で考える力、聞く力、身体診察の能力を養うことができます。指導医の先生方が必ずバックアップについて指導し、質問すれば丁寧に教えてくださるため、自己流に走ることなく安心して診療にあたることができます。

研修医の数も各学年11名とちょうどよく、みんなで教え合ったり支え合ったりしながら研修ができるのも良い点です。

その他にも患者さんが優しく穏やかな人が多い、などなどおすすめポイントはたくさんあるので、ぜひ一度は見学にいらしてください！



研修医2年目
工藤 裕実

女性医師支援コーナー

- ・当院では院内保育室を設置し、0歳から6歳までの乳幼児を対象とした24時間保育を実施しておりますので、小さなお子様のいる方であっても、働くことが可能です。
- ・年次有給休暇の他に、産休や、小さな子供のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されております。



連絡先

さいたま市立病院

庶務課 小森谷 祐介

〒336-8522 さいたま市緑区三室2460

TEL 048-873-4111(代表) FAX 048-873-5451

E-mail hsp-jimukyoku-shomu@city.saitama.lg.jp

URL http://saitama-city-hsp.jp/

アクセス JR線北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 春休み、夏休みに病院説明会を企画しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けております。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しております。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。

当院のキーワード

当院の特徴

①新病院の新築移転

平成29年1月1日、上野東京ライン・京浜東北線さいたま新都心駅から徒歩5分圏内の好立地に、新病院がオープンしました。埼玉県立小児医療センターとの併設移転が実現し、総合周産期母子医療センターとして産科領域の拡充が図られた他、急性期医療の拡充がなされました。また、平成28年4月よりスタートしたドクターカーの他、ドクターヘリも運用されます。防災時には防災機能基地をもつ「さいたまスーパーアリーナ」が近接していることにより、防災拠点として迅速な救命救急活動を行うこともできます。

②豊富な院内勉強会

モーニングカンファレンス（毎週金曜日朝に各科の先生に講師依頼します）、感染症勉強会（月一回外部講師を招いての講義＋症例検討）、ERカンファレンス（救急外来症例検討会）、CHESTカンファレンス（胸部画像読影）など、学ぶ機会がたくさんあります。

③研修医同士の仲が良い

研修医は全国様々な大学から集まっており、仕事終わりに飲みに行ったり院内旅行に行ったりと仲が良いです。また、2学年1部屋の研修医室が設けられており、悩んでいることも楽しいことも共有できる環境があります。



研修責任者から

さいたま
赤十字病院
は、地域の
基幹病院と
して急性期
医療を担っ
ています。



プログラム責任者
高屋 俊樹

高度救命救急センターを併設し、
一方で地域がん診療連携拠点病
院、地域医療支援病院にも認定さ
れており、非常に多く、かつ多様
な症例が集まるのが特徴です。
研修医同士や上級医とも距離が近
く、充実した研修が期待できます。

先輩研修医から

さいたま赤十字病院はさいたま新都心駅の目の前に位置する600床ク
ラスの中核市中病院です。当院での研修の一番の特徴は、経験できる症
例の豊富さにあると思います。埼玉県南部の三次救急を担っていること
もあり、common diseaseから重症の外傷・内科疾患まで幅広く担当し、
実際に手足を動かしながらその治療戦略を学んでいくことができます。
研修医の人数も多すぎず、症例や手技が偏るようなことはほとんどあり
ません。また、ほとんどの科に様々な大学から後期研修医が多く来てお
り、年の近い先生と相談しやすい環境下での研修は小さなことでも相談
しやすく、自分の近い将来の医師像をイメージしながら研修していけると感じております。
選択期間8ヵ月と長く、研修医同士で相談してカリキュラムを自由に組むことができ、自分
が興味を持っていれば指導医の判断・監督の下で全身麻酔下の手術の執刀医や心血管造影検査
非常に大きな魅力の一つだと思います。
また、2017年1月1日から新病院に移転しました。とてもきれいな環境で様々な手
技を経験しながら重症例のマネジメントまで勉強させていただける研修は、長い
医師人生の最初の2年間には最適だと感じております。拙い文章で大変恐縮で
すが、興味を持ってくださった方は是非一度見学にいらしてください。



研修医2年目
吉井 智洋

女性医師支援コーナー

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除
- ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除

- ・子の看護休暇（年間5日間）
- ・出産祝金、育児休業復帰一時金
- ・産前産後休暇、育児休暇
- ・日本赤十字社は、職員の育児と仕事の両立を支援している企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定を受けています。

連絡先

さいたま赤十字病院

教育研修課 眞下・森

〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5

TEL 048-852-1572(直通) FAX 048-852-3120

E-mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp

URL http://www.saitama-med.jrc.or.jp

アクセス JR線さいたま新都心駅から徒歩4分、JR北与野駅から徒歩6分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

- 見学随時受付。
- 見学希望の方は、教育研修課までE-mailにてお申し込みください。

病院の概要

- 病床数 337床
- 医師数（研修医を除く） 55名（うち指導医数 41名）
- 研修医数 1年目 7名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 東海大学・徳島大学・秋田大学・山梨大学・杏林大学・福井大学・順天堂大学・岐阜大学・日本医科大学・大阪医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 神経内科 腎臓内科 糖尿病・代謝内科 血液内科 リウマチ科 緩和ケア内科 外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 耳鼻咽喉科 眼科 泌尿器科 婦人科 皮膚科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科 救急科 病理診断科 歯科口腔外科
- 1日平均外来患者数 703名 ● 1日平均入院患者数 294名
- 主な認定施設 日本外科学会専門医修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設



研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。

厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患、手技」をこの2年間で達成できることを第一の目的としています。

専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。



【備考】ローテーションの順序は人数のバランスの配慮から、各研修医ごとに異なります。当院での評価方法は、EPOC<エポック>（オンライン臨床研修評価システム）を導入。

プログラム 例 彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	必修		必修		必修		当院必修		必修		当院必修	
	内科		消化器科		循環器科		外科		救急		麻酔科	
2年目▶	当院必修	必修	必修	当院必修	必修	当院必修	当院必修	自由選択期間				
	放射線科	地域医療	内科(外来)	精神科	救急	整形外科	泌尿器科	自由選択（5か月）				

必修：内科6か月（内科、消化器内科、循環器内科）、救急3か月、外科2か月、麻酔2か月、放射線1か月

内科外来1か月、整形1か月、泌尿器1か月、精神1か月、地域医療1か月

自由選択：5か月（内科、消化器、循環器、外科、救急、麻酔、放射線、整形、泌尿器、脳外、眼科、小児、産婦）

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：45万円/月 2年次：50万円/月
- 諸手当▶ 当直手当 1年次：1万5千円 2年次：2万5千円
- 保険▶ 社会保険、厚生年金保険、埼玉県医師会厚生年金基金、労働者災害補償保険・雇用保険
- 勤務時間▶ ①月～金：9時～17時30分 土：9時～13時（隔週）②月～金：9時～18時
- 当直▶ 土日、日当直あり（4回～/月）
- 休暇▶ 日曜、祭日、年末年始（12/30午後～1/3迄）、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶ 住宅貸与、家賃補助あり（5万円まで/月）
- その他▶ 学会・研修会等参加の費用負担あり（8万円/年） 3回/年(公休扱い)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 地域医療の協力型病院
 - ・小池内科クリニック（土呂）
 - ・平戸市民病院（長崎）
 - ・杉並リハビリテーション病院
- 小児科・産婦人科の協力型病院
 - ・柏厚生総合病院
 - ・自治医科大学附属さいたま医療センター
 - ・上尾中央総合病院
- 精神科の協力型病院
 - ・大宮厚生病院
 - ・横浜相原病院

当院のキーワード

彩の国東大宮 メディカルセンターの特徴



●救急部

初療室：4床、経過観察用ベッド9床、救急専用診察室：2部屋を整え、今まで以上に急性期対応型に進化した病院になっております。新病院移転後、救急搬送件数は年間6500件以上を受け入れています。1次、2次救急を中心に産科、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。救急部の研修では、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。

●ICLS講習会

日本救急医学会認定コースとして年3回～4回院内開催をしております。研修医もインストラクター取得を目指しています。

●埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療（リニアック）・PET-CTの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新規立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。

●指導医数

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師の8割以上が指導医であり、教育熱心な指導医からのマンツーマン指導が可能な環境になっています。

●医局・研修医室・シミュレーションセンター

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。



研修責任者から

臨床研修センターの役割は、研修内容の充実と研修環境の改善を図ることで、研修医の皆さんが臨床研修の目標を達成できるように、後方から支援しています。

そのため研修医の皆さんが、前向きに研修に励んでいるかなど、一人ひとりのメンタル面にも配慮しています。

また社会人としての常識やチーム医療に必要なコミュニケーション力など、医療面以外で大切なことを教育するのも、大切な役割の1つです。

現場だけでなく、OFF-JTで学ぶ機会も充実させ、研修医同士、切磋琢磨して、頑張してほしいと思っています。

日々の研修では、大変なことや辛いこともたくさんあると思います。

そんな時に、仲間と、お互い励まし合い、支えあい、高め合いながら、医師としての礎を作っていただけたらと願っています。一緒に充実した研修生活が送れるように頑張りましょう。



臨床研修センター長
風間 博正

先輩研修医から

研修医となり、それまで学生時代に大学病院で行った臨床実習の雰囲気しか知らなかった私にとって、この病院での指導医の先生方との距離の近さをとても新鮮に感じました。

研修では、数多くの勉強会・シミュレーター設備が存在し、勉強に役立てることができるのが特色です。救急医療におけるICLSやBLS、ランチョンセミナーや医局勉強会、CVについても講習会があり、救急科の先生からマンツーマンで指導していただけます。院内学会も定期的に行われており、研修医の時期から発表する機会をいただくことで将来の症例・研究発表にむけての礎とする貴重な経験をつむことができます。

やる気さえあればどんどん臨床経験・手技を身につけていくことができます。一緒に頑張って成長していきましょう！



研修医1年目(平成28年度入職)
持田 賢太郎

女性医師支援コーナー

- ・育児休業制度
- ・短時間勤務制度
- ・深夜業務の制限
- ・時間外労働時間の制限
- ・子の看護休暇制度
- ・病院のすぐ横に、24時間保育室を運営

連絡先

彩の国東大宮メディカルセンター

臨床研修センター 野口 寛美

〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522

TEL 048-665-6111(代表) FAX 048-665-6112

E-mail kenshui@shmc.jp

URL http://www.shmc.jp/

アクセス JR宇都宮線 土呂駅から徒歩11分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学について

- 病院見学の申込みは、随時受け付けております。病院HPの応募フォームからお申し込みください。
- 東京ビックサイトで開催される春・夏のレジナビにも参加いたしますので、ぜひブースにお立ち寄りください。

病院の概要

- **病床数** 340床
- **医師数（研修医を除く）** 54名（うち指導医数 15名）
- **診療科** 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科
腎臓内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科
神経内科 外科 消化器外科
乳腺・内分泌外科 整形外科 脳神経外科
アレルギー科 リウマチ科 小児科 泌尿器科
耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科
病理診断科 麻酔科
- **1日平均外来患者数** 248名
- **1日平均入院患者数** 246名
- **主な認定施設** 地域医療支援病院、
日本内科学会認定制度教育関連病院、外科医専門医制度修練施設、日本脳卒中学会研修教育病院、
日本整形外科学会認定専門医制度研修施設、日本麻酔科学会認定病院、等

**研修プログラムの特色**

当センターの初期臨床研修プログラム理念は深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリケア能力を修得するための医師養成を目指します。

当センターは多様な疾患を経験できます。それは年間入院患者数6千人以上、2次救急外来患者数は約5千人と幅広い豊富な患者数に支えられているからです。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。

特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色の基に、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム例 ▶ **さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員2人）**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急			外科		
2年目▶	小児科		精神科		地域医療		選択必修			選択		

内科、救急、小児科、外科、精神科、地域医療は必修。泌尿器科、産科、整形外科、脳外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科は選択必修科目としこの中から3科3か月以上を選択。産科は協力型研修病院である自治医科大学附属さいたま医療センターにて行います。選択：その他の選択（4か月）は研修医の希望により、検査手技の習得や他の診療科の研修を目的として、自由に選択できます。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：34.7万円/月 賞与76万円/年
2年次：36.3万円/月 賞与152万円/年（実績）
- 諸手当▶ 時間外手当
- 保険▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶ 8時30分～17時30分
- 当直▶ あり（4回/月）
- 休暇▶ 夏季・年末年始休暇・年次有給休暇有（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶ あり
- その他▶ 医師賠償責任保険病院負担、健康診断（年2回）、学会参加費用支給（年2回）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・自治医科大学さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・南魚沼市民病院

当院のキーワード

研修医の1日のタイムスケジュール

7:30/病院到着
 8:00/内科 朝カンファレンス
 9:00/病棟業務/救急当番
 (水：石田副院長による心エコー指導)
 12:00/職員食堂にて昼食
 13:00/病棟業務/救急当番/心臓カテーテル検査など
 (土：16:30/journal club)
 (月：17:00/内科カンファレンス)



朝カンファレンス：前日から当直帯までの内科入院患者を内科全員で確認します。研修医にとってプレゼンの練習となる絶好の機会であると同時に、循環器、消化器、呼吸器など各専門医の先生方からのフィードバックがあり大変勉強になります。

救急当番：月～土の日中の救急対応(救急搬送、walk in)を担当します。3年目以上の上級医と組むため、方針に悩んだときにはすぐに相談できます。

研修責任者から

さいたま市民医療センターは地域に密着した医療をモットーに診療を行っている地域医療支援病院です。今までも自治医科大学附属さいたま医療センターと連携し、ホスピタリスト育成プログラムで研修医の育成を行っていましたが、昨年より独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。



救急総合診療科科長
坪井 謙

「病気」、「こども」、「けが」に対して、まず「診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を養成できるプログラムを組んでいます。

また、豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境となっています。

こんな病院で一緒に働いてみませんか？

先輩研修医から

当院の特徴はなんといっても各診療科間の垣根が低いこと。医局がひとつのため、他科の先生方ともすぐに顔の見える関係でのコンサルトが可能です。内科に限って言えば総合チーム、循環器チーム、消化器チームといったように分かれてはいるものの内科全員が集まる機会が多々あり、非常に相談しやすい環境にあります。



研修医1年目(自治さいたま研修医)
瀬戸 那由太

市中病院としてcommonな疾患はもちろんですが、地域のクリニックなどから紹介されてくる診断のついていない症例まで様々な疾患を経験できることも魅力の一つだと思います。また、コメディカルとの距離も近いのも特徴であり、チーム医療体制が整った病院でもあると感じます。初期研修の2年間は医師としての姿勢や考え方の基礎を学ぶ最も大切な期間だと思いますが、この規模の教育病院だからこそできる丁寧で綿密な指導があり、総合診療医志望の私は大変充実した時間を過ごさせて頂いています。

女性医師支援コーナー

- ・週4日勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

連絡先

社会医療法人 さいたま市民医療センター

総務課

〒331-0054 さいたま市西区島根299-1

TEL 048-626-0011(代表) FAX 048-799-5146

E-mail soumu@scmc.or.jp

URL http://www.scmc.or.jp/

アクセス JR大宮駅からバスで20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学随時受付

左記の連絡先へEメール、TELにてお問い合わせください。

病院の概要

- 病床数 724床
- 医師数 (研修医を除く) 165名 (うち指導医数 76名)
- 研修医数 1年目 15名 2年目 15名
- 研修医の主な出身大学

旭川医科大学・札幌医科大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・東北大学・福島県立医科大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・日本医科大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・帝京大学・順天堂大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・群馬大学・山梨大学・筑波大学・新潟大学・金沢大学・福井大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・信州大学・近畿大学・滋賀医科大学・川崎医科大学・島根大学・徳島大学・産業医科大学・熊本大学・宮崎大学・鹿児島大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University



- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 神経内科 糖尿病内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科 感染症内科 腫瘍内科 緩和ケア内科 心療内科 小児科 産婦人科 外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科 気管食道外科 肛門外科 内視鏡外科 小児外科 泌尿器科 耳鼻いんこう科 頭頸部外科 眼科 形成外科 美容外科 皮膚科 麻酔科 救急科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 臨床検査科 リハビリテーション科 歯科口腔外科

- 1日平均外来患者数 1450.4名
- 1日平均入院患者数 581.7名

- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医教育病院、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、三学会構成心臓血管外科専門医施設認定、他

研修プログラムの特色

「たくましさ」を身につけるためのプログラムです。初期臨床研修は、その後に訪れる「厳しい」医師生活を生き抜くための準備段階であると私たちは考えています。敢えてきつい環境を創出し、研修医たちは鍛えられ自身の成長を実感しながら毎日を過ごしていきます。ひとりの医師として様々な場面で責任をもって診療に参加することが義務付けられているからです。救急外来ではファーストタッチを、総合診療科研修では主治医に匹敵する存在として患者さんに関わるすべてのマネージメントを、そして離島研修ではときに一人当直を任せられます。身につけた「たくましさ」は一生の財産となることでしょう。

のんびり、じっくり、ゆるやかに研修生活を過ごしたいという方にはマッチしないことをお断りしておきます。「教えてもらえる、やらせてもらえる」のではなく「自分で考え調べ行動する」ことが当たり前な環境です。自分自身のパフォーマンスを最大限に高めたい方には心から満足できる2年間となることを約束します。



プログラム 例 上尾中央総合病院臨床研修プログラム (募集定員19人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科系7科(内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択						救急部門			麻酔科		外科
2年目▶	外科	小児科	産婦人科	地域医療	選択期間							

必修：内科系6か月、救急科3か月、麻酔科2か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月

選択：8か月 (内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、精神科、病理診断科、地域研修)

※地域研修は必修1か月、選択1か月まで (合計2か月選択可能)

※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：40万円/月 2年次：43万円/月
- 諸手当▶ 当直手当、日勤手当
- 保険▶ 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険、厚生年金基金
- 勤務時間▶ 9時～17時30分
- 当直▶ あり (6回/月)
- 休暇▶ 有給休暇 (入職3か月後：3日 6か月後：7日 初年度：10日支給) その他 (特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)
- 宿舎▶ あり：当院規定(5万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内在住限定)
- その他▶ 処遇：常勤、健康診断：年2回、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給有 医療費見舞金制度・24時間保育園・保養所 (軽井沢/那須/山中湖)・院内旅行・その他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 埼玉県立精神医療センター
- ・ 医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院
- ・ 医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院
- ・ 特定医療法人沖繩徳洲会 宮古島徳洲会病院
- ・ 特定医療法人沖繩徳洲会 石垣島徳洲会病院
- ・ 気仙沼市立本吉病院
- ・ 社会医療法人緑壮会 金田病院
- ・ 土庄町国民健康保険病院 土庄中央病院
- ・ 医療法人 哲西会 哲西町診療所
- ・ 矢掛町国民健康保険病院 他

当院のキーワード

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

- 『自立』救急外来では年間約10,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。
- 『責任』総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。
- 『信頼』地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。



◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5～10年目の若手医師、看護師、コメディカルが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。

研修責任者から

3年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。

多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うこととなります。「指導医」はいません・・・



プログラム責任者
黒沢 祥浩

当院の研修卒業生たちは、救急業務のどんな場面にあっても適切に診療していく能力を身につけています。「自信をもってやっています」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。

当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、カッコいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。

先輩研修医から

ここは年間10,000台もの救急車が来る病院です。4つある初療ベッドが満床でも次の救急患者のホットラインが鳴ると「いいよ、受け入れるよ」と言われる。新人研修医がフリーズしていると、「入院のオーダーお願いします」と追い打ちをかけるように看護師からの催促の一言。2年目の研修医が「入院のオーダーはこうやるんだよ。」と助け舟を出してくれた。1年目にとって先輩は・・・まさしく神。1年間の研修が神を創造した。そして、極限状態での記憶こそが次に同じ状況になった時の対応を助け、自分をたくましく育ててくれるのだと感じた。

私がなぜこの病院を研修先として選んだのか。答えは簡単。盲目的に上級医の指示だけを実施するのではなく、きちんと根拠に基づいて考え、プレゼンをすれば自分の考えを反映してくれる環境がここにはあります。上尾には伝えきれない魅力が他にも沢山あります。



研修医1年目
長谷部 智久

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

—妊産婦への配慮—

【妊娠中】

母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者

との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。

【育児中】

育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数 を決定することとする。

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除

連絡先

上尾中央総合病院

人事課 臨床研修事務係

〒362-8588 上尾市柏座1-10-10

TEL 048-773-1111(代表) FAX 048-772-2205

E-mail ishi_jinji@ach.or.jp

URL http://www.ach.or.jp

アクセス JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】

ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みはフォームよりお申し込みください。

【平成29年度・初期臨床研修プログラム 説明会】

平成29年3月25日(土) 14:00～17:00(予定)

※医学生もご参加いただけますので 気軽にお問い合わせください。

21

小川赤十字病院

病院の概要

- 病床数 302床
- 医師数（研修医を除く） 30名（うち指導医数 12名）
- 研修医数 1年目 2名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 宮崎大学・日本医科大学・
聖マリアンナ医科大学・群馬大学
- 診療科 内科 循環器科 呼吸器科 リウマチ科 精神科
神経科 外科 乳腺・内分泌外科 消化器科 整形外科 脳神経外科
皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科
リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 601.6名
- 1日平均入院患者数 243.8名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院



研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。

1年目は内科、外科、救急医療の研修にて基礎力を磨き、2年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。

小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

希望があれば、一時的に複数の診療科を同時に研修できるプログラムも用意いたします。



プログラム 例 小川赤十字病院医師臨床研修プログラム（募集定員2人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						選択必修・選択			救急医療		
2年目▶	選択必修・選択					地域医療	選択必修・選択					

地域医療はさつき内科クリニック、瀬川病院で実施する。

選択必修科目は外科、麻酔科、小児科（埼玉医大）、産婦人科（埼玉医大）、精神科から選択する。

選択科目は呼吸器、循環器、消化器、内分泌・代謝、神経、血液、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域保健（日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホームひなた荘、小川町保健センター）から選択する。

研修医の処遇

- 給与▶1年次：約40万円/月 2年次：約45万円/月
- 諸手当▶当直手当、通勤手当、勤勉手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶月～金：8時30分～16時45分、土：8時30分～12時30分
- 当直▶あり
- 休暇▶日曜日、第2・4土曜日、祝日、創立記念日
有給休暇 1年次：15日 2年次：21日
- 宿舎▶なし（家賃補助あり）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・小川町保健センター
- ・特別養護老人ホームひなた荘
- ・さつき内科クリニック
- ・瀬川病院

当院のキーワード

当院の特徴

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。

昭和14年に開設されて以来、75年を超える歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。

また、赤十字病院として、救護班（医療チーム）を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。



研修責任者から

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはずですよ。



プログラム責任者
秋山 雄次

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望に沿うことができます。また救急医療・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科は埼玉医科大学病院での研修になります。

平成28年には病棟の建て替えが完了し、アメニティが向上しました。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学においで下さい。

先輩研修医から

私は大学病院で初期研修を開始しましたが、一身上の都合により途中で小川赤十字病院に移籍し研修を行っております。

当院は地域医療の中核としての機能を果たしており、Common Diseaseを中心に豊富な症例を経験することができます。診療科間、職種間の垣根が低く、密接に連携して患者さんを全人的に診ていけるのが特徴です。

研修医と指導医との距離も近く、いつでも気軽に質問、相談ができる環境にあります。手厚いバックアップの下で受身ではなく主体的に診療に臨む経験が積めます。また様々な手技を実践する機会にも恵まれています。そして希望に応じ柔軟に研修内容を調節していただけるので、無理なく働くことができるのも研修医にとっては有難いです。

平成28年に完成した新病棟は快適ですし、スタッフも話しやすい方が多く病院全体がアットホームな雰囲気なので、とても働きやすい環境です。

是非一度見学にいらしてみてください。



研修医1年目
青塚 伸孝

女性医師支援コーナー

- ・産休
- ・出産祝金（嘱託職員の場合は2年目以降）
- ・育休
- ・育児短時間勤務
- ・育児休業復帰一時金（復帰6か月後）
- ・時差出勤、時間外勤務の制限、深夜勤務の免除、所定労働時間を超えない勤務
- ・子の看護休暇

連絡先

小川赤十字病院

総務課 竹崎公貴

〒355-0397 比企郡小川町小川1525

TEL 0493-72-2333(代表) FAX 0493-72-2755

E-mail info@ogawa.jrc.or.jp

URL http://www.ogawa.jrc.or.jp

アクセス 東武東上線・JR八高線 小川町駅 徒歩15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学の申込方法

日程調整させていただきますので、総務課あて連絡をお願いします。

病院の概要

- 病床数 229床
- 医師数（研修医を除く） 20名（うち指導医数 11名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 北里大学・鹿児島大学・徳島大学・東京医科大学・信州大学・佐賀大学・日本医科大学・埼玉医科大学・昭和大学・大阪医科大学・筑波大学・琉球大学・鳥取大学・帝京大学・産業医科大学
- 診療科 内科 外科 整形外科 循環器科 リウマチ科 消化器科 神経内科 呼吸器科 泌尿器科 形成外科 皮膚科 脳神経外科 アレルギー科 リハビリテーション科 放射線科
- 1日平均外来患者数 456.9名 ● 1日平均入院患者数 170.4名
- 主な認定施設 日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設 など



研修プログラムの特色

昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐にわたります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。

このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身につけることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方法は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のベテラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。



プログラム 例 関越病院 医師臨床研修プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急	小児科	産婦人科	精神科	外科系	
2年目▶	外科系	地域医療	選択科									

※救急部門は原則1年次に3か月以上が必修となっております。当院では1か月間集中的に研修を行い、残りの2か月分は月4回の夜間救急外来研修を行うことで必修期間の補完となります。

※外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各1か月研修します。

※地域医療研修は1.5か月、選択科は9.5か月となります。

研修医の処遇

- 給与▶1年次：40万円/月（税込） 2年次：45万円/月（税込）、賞与あり
- 諸手当▶当直・日直手当、食事手当他
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時20分～17時30分（実働8時間）
- 当直▶あり（4回程度/月）
- 休暇▶日曜日、祝日、研究日（週1日）、夏季休暇、年末年始休暇 有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舍▶あり（病院より半径2km以内）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院（小児科・産婦人科・神経精神科）
- ・埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科・神経精神科）
- ・関越クリニック（地域医療）
- ・南町クリニック（地域医療）
- ・坂戸保健所（地域保健）

当院のキーワード

●現在病院建替工事を行っています。

当院では建物の老朽化に伴い、平成27年7月より全面的な建替工事を行っております。

この工事では、当院が目指している救急医療を含む医療の質の向上や施設の安全性の向上など、患者様により安全で質の高い医療を提供できる環境を整えること、また医師をはじめとする職員が勤務しやすい環境を整えることを目的としています。

平成28年10月に第1期工事が完成し、現在第2期工事へと進んでおります。全ての工事が完了するまで約2年間程度の期間を要しますが、地域住民の皆様や職員一同が完成するその日を心待ちにしております。



研修責任者から

皆さんそれぞれ得意・不得意、理解できる・できないがあると思います。当院の指導は横並びではなく、研修医それぞれに指導医が工夫を凝らしています。わからないままでは終わらせません。

また、病院内の人間関係も気になるころだと思います。アットホームな雰囲気、医師や看護師も含めた病院職員の人間関係の良さは、言葉にしてもなかなか伝わるものではございません。さらに、研修医の普段の様子なども気になる点かと思えます。

当院の病院見学ではこれらすべてを見て、聞いて、感じてもらって、最後には納得してもらえるようスケジュールを組んでおります。「百聞は一見に如かず」是非一度ご来院下さい。お待ちしております。



プログラム責任者
内田 昌嗣

先輩研修医から

関越病院を研修先として選んだ理由は、地域に根差した医療を大切にするという理念に魅力を感じたからです。

当院は二次救急病院として、坂戸・鶴ヶ島地域の住民に献身的な医療を提供しております。多くはない病床数ですが、その分雰囲気アットホームです。また、経験すべき疾患は一通り網羅することができる程、多岐にわたります。さらに、手技や疑問点等は丁寧に教えて頂けるので、すぐに解決し定着も早いです。

研修医の人数も程よく、すぐに親しくなり、お互いに切磋琢磨し、また一緒に遊んだり、非常に充実した関係が築けます。

都内へは電車で乗換えなしにアクセスできるので、休日は好きなことをしてリフレッシュしています。当院で見学いただく時は、是非一緒にお話ししましょう。お待ちしております。



研修医1年目
栗原 彬

女性医師支援コーナー

当院では、女性・男性分け隔てなく、仕事と家庭の両立する職員の支援を積極的に進めております。

主な支援策として、①24時間365日保育可能な保育園を敷地内に完備。日中の勤務だけでなく、夜勤や当直の時にもご利用いただいております。②産前産後休暇や育児休暇、復帰後の短時間勤務③日当直の免除もしくは制限の3点が対応可能となっております。

またご家族の事情を勘案した働き方も相談の上、勤務を決定することもできます。

病院見学時には保育園の見学も可能ですので、是非お申し出ください。



連絡先

社会医療法人社団
新都市医療研究会(関越)会

関越病院

研修管理室 臨床研修担当

〒350-2213 鶴ヶ島市脚折145-1

TEL 049-287-3727(代表) FAX 049-271-2370

E-mail jinji@kan-etsu-hospital.or.jp

URL http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/

アクセス 東武東上線坂戸駅下車 南口より徒歩13分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では、学生の皆様のご都合に可能な限り合わせた形で病院見学を行っております。連絡先の電話もしくはメールにてお申し込みください。

尚、病院見学が面接受験の条件となりますので、皆様のお問い合わせをお待ちしております。

病院の概要

- 病床数 325床
- 医師数（研修医を除く） 43名（うち指導医数 12名）
- 研修医数 1年目 2名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・岡山大学・宮崎大学・
日本大学・産業医科大学・旭川大学・帝京大学・
富山大学
- 診療科 内科 消化器科 循環器科 神経内科 精神科 小児科 外科
整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科
耳鼻咽喉科 放射線科 歯科 麻酔科 リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 419.9名 ● 1日平均入院患者数 199.7名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、日本外科学会専門医修練施設、日本内科学会認定医教育関連施設、
日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医研修指導施設



研修プログラムの特色

急性期型の中規模病院での研修であるため、一般疾患、手技を多数経験でき、臨床的に基本的な知識、技能および態度を習得できます。一方、少人数の研修医のため、個々の研修医の志望に合わせ、きめ細かな研修指導が可能です。

研修1年目は内科重視で6～8か月、他に外科、麻酔科（埼玉病院または当院）、小児科、産婦人科、精神科（国立精神・神経医療研究センター病院）の選択必修のローテート、2年目は地域医療（所沢ロイヤル病院、平沢記念病院、東長野病院）での研修を行います。内科研修には東埼玉病院における呼吸器科と神経内科の研修が含まれます。救急は1年目の2か月と、2年目の週1回の当直で研修します。残りは、院内、院外の登録された各診療科で選択研修を行います（一部は到達目標達成に必要な部分の研修もできるよう調整します）。



プログラム 例 西埼玉臨床研修プログラム（募集定員3人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急		選択必修（外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科）			
2年目▶	地域医療	選択										救急（当直）

内科6か月、選択必修5か月（外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科）、地域1か月は必修。

研修医の処遇

- 給与▶約36万円/月
- 諸手当▶通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当等
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶8時30分～17時15分
- 当直▶あり（4回/月）
- 休暇▶2回/週、有給休暇（3か月勤務後5日付与、さらに3か月勤務後5日付与）
- 宿舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・国立病院機構埼玉病院
- ・国立病院機構東埼玉病院
- ・国立精神・神経医療研究センター病院
- ・国立病院機構東長野病院
- ・所沢ロイヤル病院
- ・平沢記念病院

当院のキーワード

研修環境について

- ①地域密着型急性期対応の中規模病院のため、大体の診療分野、機器は揃う一方、セクション間の風通しは良好で有機的に機能しています。研修しやすい環境だと思います。
- ②研修医官舎は病院敷地内にあり、比較的広く新しくきれい。家具付き。家賃2万円。
- ③研修医のための研修医室があり、机を並べて、お互い励まし、刺激し合っています。
- ④所沢市は埼玉県の南端で東京都清瀬市などに隣接し、西武線で池袋、新宿につながる人口34万の都市です。

ともに学習し、ともに働く研修医の参加を期待しています。

研修責任者から

当院の研修プログラムの特徴は4つの‘F’です。それは‘foundation’、‘flexible’、‘freedom’、‘friendly’です。将来責任ある医師となるためにはこの研修期間にしっかりとした基盤・土台形成が必要です。そのためのプログラムを提供したいと考えています。



副院長
小村 伸朗

そして、一様にプログラムを押し付けるのではなく、研修される方の希望や考えを重視し、柔軟性かつ融通性の富んだプログラムに適宜変更していくことも可能です。どうぞ、自己成長のための自由かつ建設的意見をどんどん提示して下さい。医師、看護師はもちろんのこと多くの職種の方々はみな親しみ深い方々ばかりです。たくさんの思い出を是非この病院で作って行って下さい。

先輩研修医から

西埼玉中央病院の研修は自由度が高く、必修科目を自分の好きな順番で好きな時期にまわった後、興味が出た科を選んで研修することができます。



臨床研修医
鬼塚 志乃

研修医は少ないですが、外病院をまわったり、また他の病院の研修医が研修にくるので色々な病院の研修医と話すことができます。どちらかというと「緩い研修」病院になるのかもしれませんが、上級医は厳しい大学病院で研修をしてきた先生ばかりで、仕事に対するモチベーションが高く、積極的に研修に臨む態度を忘れなければ得られるものは多いです。

ただ「のんびり」ではなく「自分のペース」で研修を進めたいと考えている人はぜひ一度見学に来てみてください。

女性医師支援コーナー

研修とともに、出産・育児も大事な要素の一つと考えております。院内には保育園が併設されており、育児をしながらの研修にも対応できます。

また現在、常勤医で産休・育児休暇を取得している女医はいませんが、若い医師も産休・育児休暇を使う受け皿があり、初期研修医も研修期間の調整は必要ですが個々のニーズに合わせた対応が可能です。

なお院内には明るい雰囲気的女医室があり、休憩時間など診療料を超えた交流の場となっています。



連絡先 独立行政法人国立病院機構 **西埼玉中央病院**

管理課給与係 杉山 亮平

〒359-1151 所沢市若狭2-1671

TEL 04-2948-1111(代表) FAX 04-2948-1121

E-mail sugiyamar@wsh.hosp.go.jp

URL http://www.hosp.go.jp/~wsaitama/byouin_shoukai.html

アクセス 西武線小手指駅から徒歩20分又は狭山ヶ丘駅から徒歩20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 当院HP「職員募集ページ」から病院見学をお申し込みください。
病院見学では当院臨床研修医及び若手医師と昼食会を設けています！！
宿泊施設は院内にて格安で提供いたします。

病院の概要

- 病床数 349床
- 医師数（研修医を除く） 76名（うち指導医数 37名）
- 研修医数 1年目 6名 2年目 6名
- 研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学・信州大学・産業医科大学・東京慈恵会医科大学・高知大学・東京医科大学・東海大学・帝京大学・北里大学・杏林大学・熊本大学・岡山大学・昭和大学・川崎医科大学・宮崎大学・愛知医科大学・聖マリアンナ医科大学・群馬大学
- 診療科 総合内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内分泌・代謝内科 腎臓内科 緩和ケア内科 消化器外科 乳腺内分泌外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 1350名 ● 1日平均入院患者数 335名
- 主な認定施設 臨床研修指定病院（基幹型）、地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設
<医師研修施設認定>
日本内科学会認定医教育病院、日本外科学会、日本救急医学会



研修プログラムの特色

当院は年間約7000台の救急車を受け入れている地域の中核病院です。Common diseaseから重症患者まで豊富な症例を初期研修医がfirst touchで診る機会に溢れています。救急外来や病棟で指導医とのディスカッションやフィードバックを受ける機会が多く、研修医は日々生き生きと働きながら研鑽を積んでいます。2年間を通して毎週半日の救急研修が確保されており、救急車・外来患者合わせて年間500人以上の初期救急対応を目標にしています。2年間の研修を通して病歴聴取・身体診察を重視した臨床推論、患者とのコミュニケーション、カルテ記載、症例プレゼンテーションなどの「基本的臨床能力」をしっかり身につけることを最重視しています。初期研修医に対する教育に理解と情熱がある指導医が多く、お互いに教え合い学び合う文化を大切にしています。



プログラム 例 埼玉石心会病院初期臨床研修プログラム（募集定員10人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科								救急	外科		
2年目▶	救急	地域医療	麻酔科		選択ローテーション							

- 1) 内科8か月：総合内科2か月、腎臓内科2か月、消化器内科2か月、循環器科2か月が必須。
- 2) 救急3か月：1年次に1か月、2年次に1か月必須。
救急当直（月に数回）と毎週半日の救急研修を合わせて合計3か月とカウントする。
- 3) 外科3か月：消化器外科3か月（または消化器外科2か月＋他の外科系1か月）が必須。
他の外科系：心臓血管外科、整形外科、乳腺内分泌外科、脳神経外科、形成外科から選択可
- 4) 麻酔科：2か月必須
- 5) 地域医療：2年次に1か月必須。
- 6) 選択ローテーション：以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低1か月以上から選択可。既にローテートした必修科を繰り返し選択可（必修科と選択ローテーションを分けずに必修科を延長することも可）。
総合内科、腎臓内科、消化器内科、循環器科、外科（消化器外科、乳腺内分泌外科）、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、小児科、精神科

研修医の処遇

- 給与▶約40万円/月
- 諸手当▶通勤手当、当直手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険
- 勤務時間▶8時30分～17時（土曜日13時）
- 当直▶あり（4回/月）
- 休暇▶土曜日午後、日曜、祝祭日、有給休暇（10日/年）
- 宿舎▶あり
- その他▶家賃補助制度あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・さやま総合クリニック
- ・埼玉医科大学病院（産婦人科、小児科）
- ・西埼玉中央病院（産婦人科）
- ・川越同仁会病院（精神科）
- ・済生会川口総合病院（小児科）
- ・南魚沼市民病院（地域）
- ・小鹿野中央病院（地域）

当院のキーワード

研修医共通 週間スケジュール

埼玉石心会病院 2015年4月版

	月	火	水	木	金	土
朝		7:45 EBM勉強会/抄読会 (隔週)	7:45 モーニングセミナー (毎週)	8:00 ERケースカンファ (毎週)		7:45 Reflectionカンファ (毎月)
午前	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)
昼	12:30 感染症セミナー (隔週)		12:30 総合診療セミナー (隔週)	12:30 ランチョンセミナー (毎週)		
午後	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	病棟業務 (救急研修)	
夕方	17:00 研修医会議 (毎月第2月曜日) 18:00 内科症例検討会 またはCPC(毎月)	17:30 症例から学ぶ 救急セミナー (隔月)				

研修責任者から

初期研修とは「医者の基本」を徹底して学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と、頻りに遭遇するCommon diseaseに対する診療能力を身につけること」。当院ではこの2つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を徹底して鍛えるための研修に力を注いでいます。



総合内科副部長・プログラム責任者
村田 健

一人一人の力量に応じて着実に成長していける研修を目指しており、最終的には研修医全員が同じレベルに到達するための工夫や、お互いに教え合い学び合う「シェアする文化」を大切にしています。

ベッドサイドの手技の件数は圧倒的に多いことも魅力の一つですが、単に手技を身に付けることを重視していません。Attitude (患者との接し方、問題解決の思考プロセス)・Skill (手技)・Knowledge (知識) のバランスが重要であり「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を目指しています。

先輩研修医から

私が研修病院を選ぶ際に、重要視していたものは次の3点でした。

- ① Common diseaseの診断、治療をしっかりとできるようになること
- ② 研修医が主体的に診療できること
- ③ 指導医とディスカッションし、フィードバックをもらう機会が豊富にあること



研修医2年目
雨宮 光男

埼玉石心会病院は、年間7000台以上の救急車を受け入れており、Common diseaseを抱えた患者さんが毎日、次から次に入院してきます。研修医と指導医の距離が近く、ディスカッションしやすい雰囲気があり、他科へのコンサルトも気軽に行えます。自分が診た症例については、全例をプレゼンして指導医からフィードバックをもらいます。自分が考えた診断や治療内容を実際に患者さんに活かすことができる機会が多いため、大きなやりがいを感じながら日々研鑽を積んでいます。教育熱心な指導医が多いため、積極的に学びたいという姿勢で勉強をすればするほど、主体的に診療ができる点が大きな魅力だと思います。

女性医師支援コーナー

当院(初期研修医を含む)及び関連施設(さやま総合クリニック、さやま腎クリニック)において常勤医師は105名在籍しており、そのうち20名が女性医師です。現在2名が産休・育休中です。これまでも産休・育休を取得して復帰された女性医師が複数いらっしゃいます(出産を機に辞めたという方はいらっしゃいません)。

また育児のための当直免除や短時間勤務職員制度もあります。

院内保育所では24時間保育を365日行っており、女性医師が働きやすい環境整備に努めています。

連絡先

社会医療法人財団石心会 **埼玉石心会病院**

医師採用担当

〒350-1323 狭山市鷺ノ木1-33

TEL 04-2953-0909(代表) FAX 04-2953-8040

E-mail yuji-wakamatsu@saitama-sekishinakai.org

URL http://www.saitama-sekishinkai.jp

アクセス 西武池袋線稲荷山公園駅から徒歩10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学の申込みは随時行っています。気軽にお申し込みください。
- 採用試験は毎年8月～9月上旬に実施しています。
- 毎年2月に院内で研修医研究発表会を開催しています。医学生の参加をお待ちしています。

病院の概要

- 病床数 504床
- 医師数（研修医を除く） 45名（うち指導医数 10名）
- 研修医数 1年目 1名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 東北大学・埼玉医科大学・旭川医科大学・福井大学・杏林大学・昭和大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 消化器外科 呼吸器内科 神経内科 リウマチ科 外科 肛門外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 小児科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 610名 ● 1日平均入院患者数 385名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院、病院機能評価認定病院、二次救急指定病院、日本DMAT隊員養成研修施設



研修プログラムの特色

医師としての人格を養成し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で繰り返し遭遇する病気・病態に適切に対応できるように、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけます。

1年次は基本的な臨床知識と技能の修得、2年次は将来の専攻分野を視野に入れながら、科目を選択します。

◆ 全人的な診療能力を身につける

一般診療、急性期・救急医療を通じて、プライマリ・ケアを中心に幅の広い診療能力を身につけます。

◆ 少人数・実践方式

できる限り現場の医療に実践で取り組み、マンツーマンの指導を受けられます。

◆ 法人内他施設との連携

クリニック、老人保健施設など、法人内他施設と連携して研修内容を広め、法人全体で育成するというプログラムになっています。



プログラム例 標準コースプログラム（募集定員5人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	※内科						救急			※選択必修科目		
2年目▶	地域医療	※選択科目										

※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・一般内科をローテーションします。

※選択必修科目：外科・麻酔科・精神科・小児科・産婦人科より2科目

※選択科目：内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・眼科・救急・麻酔科の中から選択

※小児科・産婦人科は埼玉医科大学にて研修、精神科は済生会鴻巣病院にて研修を行う。

研修医の処遇

給与▶ 1年次：42万円（税込）／月 年俸504万円（税込）

2年次：50万円（税込）／月 年俸600万円（税込）

※当直（副直）手当、休日手当、時間外手当を含む

保険▶ 健康保険、労災保険、厚生年金保険、雇用保険

勤務時間▶ 週変動型36時間(4.5日)制 平日：9時～18時 土曜日：9時～13時

当直▶ あり（4～5回／月）※副直として

休暇▶ 日曜日、祝祭日、年末年始（12月31日～1月3日）、有給休暇（年8日）

宿舎▶ あり

その他▶ 就業規則に定めるところによる赴任手当あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 埼玉医科大学病院
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター
- ・ 済生会鴻巣病院

当院のキーワード

当院の特徴

当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、救急搬送困難事案受入病院として、地域医療の中核的役割を担っている病院です。他医療機関からの紹介患者様のさまざまな症例に対し高度医療を提供するため、豊富な症例を扱います。また、研修医の皆さんにも積極的に治療に参加していただきますので、基礎研修として多くの経験を積むことが可能です。

「地域完結型医療」「病診連携」「救急医療」を勉強したい方たちにふさわしい病院です。医局は特定の大学に関連しているのではなく、全国から40歳前後の若い先生が集まる医局です。若い先生の新しい知識と行動力を持って、日夜診療に取り組んでいます。

さらに当院はケアミックスの施設形態をとっています。地域包括ケア病棟・療養病棟・回復期リハビリテーション病棟も有しており、ご高齢の患者さまへの診療を通して、急性期から慢性期までの総合診療を学べることも特徴の一つです。



研修責任者から

私は医師になって36年が経ちます。「投資」という言葉は、金銭や時間を費やして、さらに有益なものごとを得るということです。最近思うことは、投資に使われるお金や時間は、自分のものようでありながら、決して自分だけのものではないということです。時間やお金をかけて学会や研修会に行き、新しい知識を得たり、技術を磨いたりすることは、ひいては万人のためになることと信じていますし、また、医師はそれを期待されてもいます。

皆さんは、これから研修医として医学の世界への第一歩を踏み出します。初心を忘れることなく、常に研鑽によって得られる対価は、自分や他人が喜ぶ顔を見ることです。これがいちばん大きな対価ではないでしょうか。いっしょに勉強が出来る日を心待ちにしています。



副院長・プログラム責任者
小島 達自

先輩研修医から

どれだけ手技を多く経験できるかどうかという点において、当院の研修は他の研修病院と比較しても抜きん出ているのではないかと思います。上級医の指導の下、研修医の立場では普通はなかなか経験できないところまで積極的に参加することが可能です。こちらがやればやるほど、やらせてもらえる手技も高度なものになっていくため、とてもやりがいがあります。

また当院の研修でとても特徴的なことは、病院内をとっても自由に研修できるとい点です。現在研修中の科がどこであろうと、勉強になる症例・検査などがあれば他科であろうと積極的に呼ばれます。将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとってはこの病院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。自分の習得したい手技、経験したい診療科を重点的に経験させてもらえます。

やる気のある方、とことん手を動かしたい方は是非とも一度当院を見学に来てください！



研修医 1年目
竹田 博俊

女性医師支援コーナー

- ・院内保育所（病児保育可能）
- ・当直免除

院内保育所▶



連絡先

社会医療法人社幸会 **行田総合病院**

医師担当課

〒361-0056 行田市持田376

TEL 048-552-1111(代表) FAX 048-552-1116

E-mail pub_info@gyoda-hp.or.jp

URL http://gyoda-hp.or.jp

アクセス JR線行田駅より徒歩20分またはバス10分 秩父鉄道行田駅より徒歩20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。

お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。

救急センター、内視鏡室、手術室といった実際の診療現場を見学することができます。

研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。

病院の概要



- 病床数 311床
- 医師数（研修医を除く） 38名（うち指導医数 8名）
- 研修医数 1年目 0名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 弘前大学・筑波大学・高知大学・熊本大学・琉球大学など
- 診療科 内科 消化器科 循環器内科 外科 小児科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 産婦人科 眼科 リハビリテーション科 耳鼻咽喉科 麻酔科 歯科口腔外科 病理科 和漢診療科 救急総合診療科
- 1日平均外来患者数 570.4名 ● 1日平均入院患者数 233.4名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本外科学会外科専門医修練施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院

研修プログラムの特色

当プログラムは総合的な臨床能力を有する医師の育成を目指すもので、厚生労働省による初期臨床研修到達目標を理想とし、救急医療とプライマリ・ケアを基盤とした総合診療方式（スーパーローテート方式）による、2年間の初期臨床研修プログラムです。

臨床医としての哲学を形成していくことを目的にしており、狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的な知識・考え方・手技を身につけることに重点を置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを取れるようになることも目指しています。

また、画一的なものではなく個人の希望や特性に応じて柔軟に対応する為、オプションの研修科・期間を多めにとっています。



プログラム 例 羽生総合病院臨床研修プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科			救急			外科	小児科	産婦人科	内科		
2年目▶	地域医療		精神科	希望選択								

※内科（6か月）、救急（3か月）、地域医療（2か月）、外科（1か月）、産婦人科（1か月）、小児科（1か月）、精神科（1か月）必修

※希望選択9か月（内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、病理科、緩和ケア、家庭医療）

研修医の処遇

- 給与▶約45万円/月
- 諸手当▶通勤手当、住宅手当、家族手当等
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時30分～17時
- 当直▶あり（8回程度/月）
- 休暇▶2回/週、有給休暇（10日/年）
- 宿舎▶近距離の賃貸物件を紹介
- その他▶学会参加、資格取得補助制度有り

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉済生会鴻巣病院
- ・徳洲会グループ各病院

当院のキーワード

●平成30年5月 新築移転予定！！

当院は平成30年5月に現在の病院から程近い場所へ新築移転を行う予定であり、現在建設を進めております。

◆新病院の基本コンセプトについて◆

- ①羽生市内及び近接地域の医療ニーズへの適切な対応（救命救急センターの設置）
- ②がん診療拠点病院を目指す（放射線治療装置の導入、緩和ケア病棟の設置）
- ③災害拠点病院を目指す（非常用電源の確保・井水の利用・ヘリポートの設置等）
- ④早期発見早期治療につなげる体制を構築（健診センターの強化・透析部門、リハビリテーション部門の拡充）
- ⑤療養環境を向上させ、病院全体を癒しの空間とする
- ⑥医療の進歩や地域医療のニーズに合わせ増築・改築が容易な建物とする



平成30年5月開院（予定）
羽生総合病院は新しく生まれ変わります。

研修責任者から

「医師の仕事とは何か。」つきつめて言えば“目の前にいる患者を評価し、マネジメントすること”であり、これが全てです。これができるようになる為に必要とされる、医師にとっての職業訓練の第一歩となるべきもの、それが初期研修であると考えています。



研修委員長
木田 吉俊

そして医師としての最初の時期に論理的・科学的な考え方を習得する必要があり、自分の力で個々の患者が抱える問題点を一つひとつ列挙し、それぞれの問題点をなるべく根拠に基づきつつ解決する訓練を行わなければなりません。必要な知識や基本手技を身につけることだけでなく、その問題解決のサイクルを繰り返し、応用のきく方法論として体で覚えておけば、たとえこれまでに経験したことがない疾患、病態であったとしても恐れることはありません。研修医の皆さんには、このことを意識しつつ研修に励んでほしいと思います。

先輩研修医から

学生時代から大人数のベルトコンベヤー式の研修よりは少人数の柔軟かつ質的に十分な研修を望んでいたのが、その点で当院は魅力的な環境でした。初期研修医として最も実力が付く場は当直業務に於いてです。当直は月8～9回と体力的には大変でしたが、意外に出来るものです。



後期研修医
成松 裕之

当院の当直の特徴として、2年間通じて内科系・外科系の救急外来及び救急車の1stを全て一人の研修医が行います。とは言っても必ず後ろには経験豊富な救急専門医の上級医がついているので、いつでも相談でき安心です。2年間の当直業務で2,000件近い症例を経験でき、質量ともに満足できる研修が出来ます。

ぜひそんな当院で、医師の第一歩を踏み出してみませんか。

女性医師支援コーナー

産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また院内保育所の利用も可能（育児保育も可）ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。

連絡先

羽生総合病院

総務課 臨床研修事務担当

〒348-8505 羽生市上岩瀬551

TEL 048-562-3000(代表) FAX 048-563-2170

E-mail resident@fureaihosp.or.jp

URL http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/

アクセス 東武伊勢崎線・秩父鉄道 羽生駅から徒歩8分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。（交通費・宿泊費は当院負担にて相談可）

まずは担当までお気軽に電話またはメールにてお問い合わせください。

病院の概要

- 病床数 329床
- 医師数（研修医を除く） 58名（うち指導医数 28名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 帝京大学・香川大学・群馬大学・弘前大学
- 診療科 循環器内科 神経内科 腎臓内科 呼吸器内科
消化器内科 糖尿病内科 漢方内科 小児科 外科
呼吸器外科 乳腺外科 内視鏡外科 脳神経外科
皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科
整形外科 麻酔科 リハビリテーション科 救急科
- 1日平均外来患者数 673名
- 1日平均入院患者数 288名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院



研修プログラムの特色

〈理念〉

臨床医に求められる高い倫理性と思いやりの心を養い、“心温かい医師”を育てることを理念としています。

1. 救急医療から地域医療までの幅広い研修を通じて、「疾患ではなく患者さんを診る」という全人的な患者の評価ができる医師に育てます。
2. 質量とも揃った症例が豊富にあり、個々の症例を丹念に診断治療していく医療体制があります。
3. 研修医目線に立った指導を心がけることで、充実した臨床研修の場を提供します。
4. 研修医個人に合わせたオーダーメイドのプログラムで、意欲を持って取り組みます。
5. 全国に先駆けて医療秘書を導入、研修に集中できる環境が整っています。

〈基本目標〉

1. 医療全般において基本的診察能力（知識、技術、態度、判断力）を取得する。
2. プライマリ・ケア診療の基本を習得する。
3. 救急患者への対処を習得する。
4. 患者・家族へのインフォームド・コンセントを尊重した医療を習得する。
5. 末期患者への対処を習得する。
6. 生涯にわたる自己学習の習慣を身につける。



プログラム 例 済生会栗橋病院臨床研修プログラム（募集定員3人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	オリエンテーション	内科						外科			救急	麻酔科
2年目▶	小児科	精神科	産婦人科	地域医療・保健			選択					

※内科は、循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・腎臓内科・糖尿病内科・神経内科を6か月、外科は、外科・脳神経外科・泌尿器科を3か月

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：約30万円／月 2年次：約36.7万円／月
賞与（1年次：約60万円／年・2年次：73.5万円／年）
- 諸手当▶ 日当直手当、通勤手当、時間外手当など
- 保険▶ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 9時～17時30分
- 当直▶ あり（3回程度／月）
- 休暇▶ 2日／週、有給休暇（1年次：10日 2年次：13日）
- 宿舎▶ あり 住宅手当：借家、持ち家ともに2万円（住民票上世帯主のみ）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・久喜すずのき病院
- ・山王クリニック
- ・幸手保健所
- ・わしみや訪問看護ステーション
- ・済生会岩泉病院

当院のキーワード

当院の特徴

当院は地域中核病院であるため、どの科にも救急医療を中心とした幅広い症例が集まってきます。そのような地域のニーズに応えるべく、人材を救急部門に集約させ、HCU16床がある地域救急センターを開設しています。この取り組みにより、救急車受入困難事例を大幅に減少させ、安心で安全な地域完結医療の構築を目指しています。

また、東京女子医科大学の関連病院でもあるので、スタッフの医療レベルが高く、新しい医師も定期的に入ってくるので、雰囲気停滞することがありません。医局はオープンな雰囲気、他科の先生と気軽にディスカッションすることが可能です。現在のシステムでは、それぞれの科の研修が短い期間で終わってしまいますが、当院は所属科だけでなく、様々な科の先生から指導が受けられ、多くの疾患を経験できます。

そして、看護師をはじめメディカルスタッフとのチームワークも良いので、実体験を通じてチーム医療が学べます。



研修責任者から

臨床研修の特徴として、実践を重視していることが挙げられます。当院は急性期病院として誕生し、埼玉県北東部の医療を担う中核病院ですので、救急車の搬入も多く、処置や手技を豊富に経験できます。救急の現場で気管挿管ができるかどうかというのは初期研修の成果を図る物差しの一つですが、当院の研修医はほとんど全員がクリアしています。



臨床研修管理委員会委員長
杉浦 秀和

大学病院は大学病院ならではの症例に恵まれますが、一方で研修医が多く、初期研修1年目では大きな仕事ができにくい状況です。当院では研修医本人にやる気があり、きちんと準備できていれば中心静脈カテーテル、気胸ドレーン、気管支鏡などの高度な手技も経験することができます。

先輩研修医から

私がいる栗橋病院は、研修医が「やりたい!」とお願ひしたことが実現できるところだと思います。最近では、福祉相談課での研修が実現しました。施設の種類、入所基準などのレクチャーを受けたり、ご家族との面談に同席したりして、退院調整の仕方を学びました。同僚は内科ローテート中ですが、救急対応を学ぶために月に数回、日中に救急科の先生についています。手技に関しても、CVカテーテルや気管支鏡などを経験できます。オンオフがはっきりしている点も、おすすめです。私の場合は土日はお休みを頂いて、院外のレクチャーに参加したり、家族と過ごしたりして充実しています。一年に一度、業務時間内で学会参加できるのも魅力の一つです。その分、症例が足りなくなるのでは心配されるかもしれませんが、地域の中核病院ですので、common diseaseから希少な疾患まで、大学からの先生がびっくりなさるくらい多様な患者さんを受け持つことができます。ぜひ一度見学にいらしてみてください!



研修医1年目
南 朝香

女性医師支援コーナー

当院女性医師の声～当院で働くメリット～

①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。

「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています。」

②院内保育所や、小児科病棟の病児保育が利用できます。

「当院には、院内保育所があり、病気の際は小児科病棟で職員の子どもを預かってくれるので、安心して働けます。」

③転勤がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。

「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思います。今は、中断されずに担当できることが嬉しいです。」

連絡先

済生会栗橋病院

人事課 横井 博

〒349-1105 久喜市小右衛門7 1 4-6

TEL 0480-52-3611(代表) FAX 0480-53-0954

E-mail saikuri@saikuri.org

URL http://www.saikuri.org

アクセス 東武日光線南栗橋駅から徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っています。

まずはメールで、お気軽にお問い合わせください。

病院の概要

- **病床数** 300床
- **医師数（研修医を除く）** 35名（うち指導医数 16名）
- **研修医数** 1年目 0名 2年目 0名
- **研修医の主な出身大学** 岩手医科大学・埼玉医科大学・帝京大学・近畿大学・徳島大学・山口大学・長崎大学・宮崎大学・琉球大学・久留米大学・鹿児島大学・熊本大学・大分大学（いずれも協力型研修医）
- **診療科** 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 代謝・糖尿病内科 腎臓内科 神経内科 外科 心臓血管外科 呼吸器外科 整形外科 脳神経外科 乳腺外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科
- **1日平均外来患者数** 約400名 ● **1日平均入院患者数** 約20名
- **主な認定施設** 埼玉県がん診療指定病院、日本がん治療認定医機構研修施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本救急医学会認定専門医指定施設、日本高血圧学会高血圧認定研修施設、日本形成外科学会認定教育関連施設

**研修プログラムの特色**

このプログラムは、救急医療、プライマリ・ケアにおける基本的診療の知識、技能を習得し、総合的臨床能力と医療人としての正しい態度を身に付けることを目的としています。総合診療方式（スーパーローテイト方式）による2年間の初期臨床研修プログラムです。

内科・救急科・小児科・産婦人科・外科・麻酔科・精神科及び地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急部門も平行し、急性期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけるようにします。具体的には臨床研修到達目標（厚生労働省）を目的としています。

**プログラム例** 新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員2人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急科			外科	麻酔科	精神科
2年目▶	選択科目									小児科	産婦人科	地域医療

1年次、必修科目（内科6か月、救急部門3か月）または病院で定めた必修科目（外科1か月、麻酔科1か月）を新久喜総合病院にて研修を行い、精神科1か月を済生会鴻巣病院にて行います。救急部門は救急3か月のほか、2年間を通じ週1回程度の宿日直にて救急部門研修を行います。地域医療1か月を臨床研修協力施設（新上三川病院、所沢明生病院）または熊谷総合病院のいずれかの病院で研修を受けても可とします。産婦人科1か月を協力型病院（芳賀赤十字病院、深谷赤十字病院、羽生総合病院）のいずれかの病院で研修を受けても可とします。小児科1か月は熊谷総合病院にて行います。また、選択科目は9か月とし新久喜総合病院にて研修を行います。

研修医の処遇

- 給与▶1年次：約58万円/月 2年次：約66万/月
- 諸手当▶当直手当、時間外手当
- 保険▶健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、病院賠償責任保険
- 勤務時間▶8時30分～17時
- 当直▶あり（6～8回/月）※日直含む
- 休暇▶土日祝、夏季休暇、年末年始、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶あり（病院徒歩1分）
- その他▶学会・研修会等参加の補助あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・熊谷総合病院（小児科）
- ・深谷赤十字病院（産婦人科）
- ・芳賀赤十字病院（産婦人科）
- ・羽生総合病院（産婦人科）
- ・済生会鴻巣病院（精神科）
- ・熊谷総合病院（地域医療）
- ・新上三川病院（地域医療）
- ・所沢明生病院（地域医療）

当院のキーワード

新久喜総合病院の魅力

- ◎救急車が年間約6,000件搬入され、多くの症例に接し、学ぶ事ができます。
- ◎初期診断・治療から入院経過、手術、病棟ベッドサイドでの臨床指導、退院まで指導医と共に多くの症例に接し、学ぶ事ができます。多彩な急性疾患について確かな知識と技術を身につけることができます。
- ◎年間手術が約2,500件実施されています。
- ◎他科との壁が存在せず、他科医とも気軽に話が出来ます。医療スタッフのチームワークは抜群です。厳しいなかにも優しさあり。当院で勉強すれば、どの病院でも患者さんからの支持を受けることは間違いありません。
- ◎1年次、カンボジア小児病院（当院グループ職員が運営費の寄付を行っている病院です）に1週間の研修制度があります。
- ◎病院から徒歩1分の新築（平成28年8月完成）の綺麗な職員寮で研修2年間を過ごせます。（2.5万円/月）



研修責任者から

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalistとして、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、さまざまな患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。



プログラム責任者
岡崎 幸生

当院の指導医は、specialistとして、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalistとして活躍できる素養もっています。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数がたいへん少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療を、ともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が、新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていくのです。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえないメンバーです。

先輩研修医から



協力型研修医2年目
川崎 大記

当院は地域の基幹病院で救急患者は断らない医療を行い、一般的から専門的な疾患まで多様な症例を経験できます。医師やスタッフも親切な方が多く、働きやすい環境なので興味がある方は是非見学にいらして下さい。

埼玉医大 川崎

日中夜間問わず周辺地域から多くの救急搬送を受け入れており多くの症例に肌で触れることができます。患者様によりよい検査、治療方針を立てる力がつくと思います。

福岡和白病院 副嶋



協力型研修医2年目
副嶋 利弥



協力型研修医2年目
赤尾 光優

当院での臨床研修の魅力は、主体的である点だと思います。研修2年目では希望すれば指導医の監督のもと、自分で入院患者の治療を任せて貰えます。症例数も豊富で、初期研修先として優れた病院だと感じています。

新行橋病院 赤尾

女性医師支援コーナー

院内保育所を設置しております。時間外保育も対応しております。



連絡先 一般社団法人巨樹の会 **新久喜総合病院**

総務課 人事担当 柴田・甲斐

〒346-8530 久喜市上早見418-1

TEL 0480-26-3035(直通) FAX 0480-44-8026

E-mail kukijinji@shinkuki-hp.jp

URL http://shinkuki-hp.jp/

アクセス 久喜駅から徒歩約30分またはバス約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学実施中

当院ホームページより、申し込みください。

※交通費支給致します。（上限有り）

※宿泊施設あり

病院の概要

- 病床数 310床
- 医師数(研修医を除く) 31名(うち指導医数 13名)
- 研修医数 1年目 2名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 岩手医科大学・東海大学・千葉大学・秋田大学・杏林大学・東京医科大学
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 外科 整形外科 脳神経外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 形成外科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 449名 ● 1日平均入院患者数 205名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本消化器内視鏡学会認定指導施設
※千葉大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院



研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。

また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることが出来る基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を養成することを目的としています。



プログラム 例 熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム(募集定員4人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						救急部門			選択必修科目		選択科目
2年目▶	地域医療		選択科目									

※協力病院・施設での研修もあります

救急部門▶熊谷総合病院(2か月間)、深谷赤十字病院及び新久喜総合病院(1か月間)

選択必修科目▶外科、麻酔科、小児科(熊谷総合病院及び深谷赤十字病院)、産婦人科(熊谷総合病院及び深谷赤十字病院)、精神科(北深谷病院)

上記のうち2科目以上を選択(最低1か月以上とする)

選択科目▶内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、眼科、放射線科、救急部門、地域保健

研修医の処遇

- 給与▶1年次:42.5万円/月 2年次:45万円/月
賞与(1年次:80万円前後 2年次:90万円前後)※業績により支給
- 諸手当▶通勤手当、家族手当、超過勤務手当、日当直手当
- 保険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時30分~17時30分
- 当直▶あり(2回程度/月)
- 休暇▶2日/週、有給休暇(1年次:10日 2年次:11日)
- 宿舎▶あり(医師住宅:家賃半額補助上限6万円まで)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・北深谷病院
- ・深谷赤十字病院
- ・新久喜総合病院
- ・石川クリニック
- ・松本医院
- ・松井医院
- ・福祉医療センター太陽の園

当院のキーワード

当店の特徴

当院は1945年に開設され、長年にわたり医療活動を通じて地域貢献に努めてまいりましたが、設備の老朽化が進み2013年に救急棟、病棟（一部）が建てかえられました。

高度医療への対応や救急医療へのニーズが高まる中、地域の皆様に信頼され選ばれる病院づくりをめざしています。中規模の病院ですが、多くの症例を経験できる施設です。



研修責任者から

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリ・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。

希望とやる気があれば、より専門的な診療

への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。

また、コメディカルとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。

ご連絡をお待ちしております。



プログラム責任者
齋藤 雅彦

先輩研修医から

初期研修医の時とはとにかく症例を沢山経験し医師としての基盤を身体で覚えようと考えていました。当院では研修医が多すぎず、患者さんの取り合いになるようなことはまずありません。また指導医の先生方が一から丁寧に指導して下さり、決して研修医を放置するような事はありません。また技師さん、看護師さんなどのコメディカルの方も、ルートのとり方、エコーのあて方などをしっかり教えてくださるなど、当院は病院全体のすべてのスタッフで研修医を見守り、しっかりと医師の基盤を育てていこうという気概に満ちています。さらに当院はなんと言っても雰囲気アットホームで、スタッフの方々と廊下ですれ違えば皆笑顔で挨拶してくれます。

初期研修医の期間で最も大切な事はまず、ドロップアウトせずにしっかりと2年間のスケジュールを消化することです。当直業務は月2回、必ず上級医と共に行い、それ以上の回数は自由意志で増やすことが出来ます。

当院では待遇面、福利厚生等の条件も他院に負けないほど充実しています。まずは是非病院見学に来てみてください。



研修医1年目
土方 真吾

女性医師支援コーナー

院内保育所は同じ敷地内にあり、平屋のゆったりした造りで遊戯室が2部屋あります。保育士は常勤職員ですから、継続した保育を行うことができ、預けている職員にとっても安心できる運営になります。男性職員も利用することができ、ご夫婦で働いている方で預けている方もいます。定員は20人ほどで、生後8週から3歳までお預かりしています。今、子育て世代の女性医師が少ないので、医師の利用としては非常勤医師で週に1日、勤務のときに預けている方がいます。

24時間保育は、月に12回行っており、臨時でも引き受けます。忙しくて遅くなる時や研修など、勉強会の時もお預かりします。

病児保育は行っていませんが、少しぐらいの熱であれば職員にもすぐ連絡できますし、小児科にも連絡できますので、お預かりできます。

職員には安心して働いてもらえる環境を整えています。

連絡先

医療法人 熊谷総合病院

事務部総務課 関口 哲也

〒360-8567 熊谷市中西4-5-1

TEL 048-521-0065(代表) FAX 048-523-5928

E-mail kumasou@kumasou.or.jp

URL http://www.kumasou.or.jp/

アクセス JR高崎線・上越新幹線・秩父鉄道 熊谷駅北口から徒歩15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付しておりますので、左記アドレスに連絡してください。

病院の概要



- **病床数** 506床
- **医師数（研修医を除く）** 71名（うち指導医数 24名）
- **研修医数** 1年目 6名 2年目 6名
- **研修医の主な出身大学** 千葉大学・東北大学・埼玉医科大学・群馬大学・秋田大学・筑波大学・三重大学・山梨大学・獨協医科大学
- **診療科** 内科 精神科 神経内科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 麻酔科 放射線診断科 放射線治療科 緩和ケア外科 歯科・口腔外科 病理診断科 総合診療内科
- **1日平均外来患者数** 817.3名 ● **1日平均入院患者数** 379.7名
- **主な認定施設** 救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、骨髄移植施設、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。

当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や上級医が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起りません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。

また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。



プログラム 例 ▶▶▶ 深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科（一般・循環器・神経・血液・消化器）						麻酔科	救急部		非必修ローテ	外科	
2年目▶	希望選択科						地域医療	希望選択科				

【必修科目】

内科：一般内科（2か月）、循環器科、消化器科、神経内科、血液内科（各1か月）、救急：救急（3か月）※2年間の救急外来当直で1か月分相当
地域医療：赤十字血液センター、研修協力施設（1か月）

【選択必修科目】

麻酔科（1か月）、外科（2か月）

研修医の処遇

- 給与▶** 1年次：35万円/月（賞与10万円/年） 2年次：40万円/月（賞与30万円/年）
- 諸手当▶** 宿日直勤務手当 1.8万円/回（1年次10月から支給）、住居手当 最高2.85万円/月
- 保険▶** 健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
- 勤務時間▶** 8時30分～17時00分
- 当直▶** あり（4～5回/月）
- 休暇▶** 有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）、夏期休暇3日（7月1日～9月30日）、年末年始休暇（12月29日～1月3日）、その他の休暇は病院嘱託・臨時職員就業規則の定めによる
- 宿舎▶** なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

- さいたま赤十字病院（さいたま市）
- 小川赤十字病院（比企郡）
- 原町赤十字病院（群馬県吾妻郡）
- 佐々木病院（深谷市）
- 深谷整形外科医院（深谷市）
- 内田ハートクリニック（深谷市）
- 井上こどもクリニック（深谷市）
- おおしまクリニック（深谷市）
- 皆成病院（深谷市）
- 埼玉よりい病院（大里郡寄居町）

当院のキーワード

研修医一人一人のオーダーメイド

当院の研修では、『研修医は〇〇しなくてはいけない』という決まりはありません。研修医がその科で何を目標として、何をやるのかは毎回その科の指導医と相談して決められます。

例えば、朝の採血・点滴のラインどりなどから始まってどのような手技を重点的にやるのか、どのような患者さんを受け持つのかも一方的に決められるのではなく、自分の希望を指導医に伝えて相談にのったうえで決めています。このようなオーダーメイドの研修を行えるのは、当院の研修システムに融通性があることや病院の規模に対して研修医の数が少ないためであり、病院全体で研修医を育てるといった体制を整えています。

診療科が24科あり、研修する科においてカンファレンスが定期的に行われています。また、英文の抄読会を月1回研修医が持ちまわりで行っており、研修期間中でもまとまった量の英語論文を読む機会もあります。

研修医一人一人が自ら考えて研修期間の診療科選択や研修内容を構築でき、同じ診療科でも十人十色の研修内容になります。



深谷市イメージキャラクター
ふっかちゃん

研修責任者から

当院は、地域の基幹病院として高い専門性とともにバラエティにとんだ症例を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験が売りです。

初期研修期間は、将来どのような医師になるのかを決める（決まる）大切な期間であり、研修の3つの要素である「知識」「技能」「態度・習慣」のうち、初期研修時に最も培うべきは、「態度・習慣」であると思います。

患者さんに直接足を運ぶ習慣などは、この時期に身につけねば、データからのみの判断で指示を出すような医師となってしまうでしょう。知識と技術は初期研修、後期研修、専門分野と研鑽を積みにつれ確実に増えて行きますが、態度・習慣は逆に疎かになることさえあります。

当院では、研修医に実践してもらおうを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

当院での研修を通じ、患者さんを中心にコ・メディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。



院長(プログラム責任者)
伊藤 博

先輩研修医から

当院の研修プログラムは自由度がとて高く、研修医一人一人の意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長です。2年目に希望選択科を長く選ぶことができるので、将来希望する診療科が定まっている人でも、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人でも融通のきくプログラムです。

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができ、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接していただき、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！



研修医2年目
櫻井 健一

女性医師支援コーナー

当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

- ・産前産後休暇（母子保健法の定めによる勤務免除含む）
- ・生理休暇
- ・育児休業（育児短時間勤務含む）
- ・子の看護のための休暇

その他の福利厚生については、お問い合わせください。

平成28年度より院内保育所が開園（利用対象は、生後2ヶ月から小学校就学前まで）。職員なら誰でも利用可能なため子育て中の職員が安心して仕事に専念できるよう支援します。



連絡先

深谷赤十字病院

〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

人事課

TEL 048-571-1511(代表) FAX 048-573-5351

E-mail jinji@fukaya.jrc.or.jp

URL http://www.fukaya.jrc.or.jp/

アクセス JR高崎線深谷駅より徒歩20分、籠原駅よりバス17分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中です。

レジナビフェア2017春、夏（いずれも東京会場）に出展予定で、院長・指導医・研修医が会場で説明します。

お待ちしております。

病院の概要



- **病床数** 723床
- **医師数（研修医を除く）** 258名（うち指導医数 108名）
- **研修医数** 1年目 17名 2年目 17名
- **研修医の主な出身大学** 獨協医科大学・岩手医科大学・川崎医科大学・埼玉医科大学・帝京大学・東海大学・鳥取大学・福井大学・福島県立医科大学
- **診療科** 糖尿病内分泌・血液内科 呼吸器・アレルギー内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 神経内科 総合診療科 小児科 心の診療科 皮膚科 放射線科 外科 整形外科 心臓血管外科・呼吸器外科 小児外科 産科婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 泌尿器科 形成外科 麻酔科 救急医療科（救命救急センター） 乳腺センター 病理診断科 臨床検査部
- **1日平均外来患者数** 1676.2名 ● **1日平均入院患者数** 676.4名
- **主な認定施設** 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉DMAT指定病院）、地域がん診療連携拠点病院

研修プログラムの特色

- (1) 厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
- (2) 必修科目である内科6か月、救急部門3か月、地域医療1か月に加え、選択必修科目である外科1か月、麻酔科2か月、小児科1か月、産科婦人科1か月、精神科1か月に履修し、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間8か月では、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、将来、小児科医あるいは産科婦人科医になることを希望する研修医のために、それぞれに特化したプログラムも設けています。
- (3) 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
- (4) 臨床研究の基礎トレーニングができます。
- (5) 医師としてのキャリア構築につながります。



プログラム例 一般プログラム（募集定員46人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目▶	内科						救急部門			外科	麻酔科		
2年目▶	希望履修選択科目									小児科	産科婦人科	精神科	地域医療

必修科目（厚生労働省指定）：内科6か月、地域医療1か月、救急部門3か月
 必修科目（当院指定）：外科・小児科・産科婦人科・精神科各1か月、麻酔科2か月
 希望履修科目8か月：当院及び獨協医科大学病院の標榜する全ての科を選択可能

その他 小児科プログラム（募集定員2人） 産科婦人科プログラム（募集定員2人）

研修医の処遇

- 給与▶40万円/月（当直4回分の手当てを含めた場合）
- 諸手当▶当直手当
- 保険▶日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険/公的年金）、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（施設及び個人）加入
- 勤務時間▶獨協医科大学越谷病院就業規則による。
- 当直▶あり（4回程度/月）
- 休診日▶日曜、祝日、第3土曜日、開学記念日、年末年始
- 休暇▶第1土曜日（研修医のみ）、夏期休暇5日間/年 他
- 宿舎▶あり（有料）
- その他▶学会、研究会への参加費用支給・健康診断年2回・採用時健康診断・各種予防接種 他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・獨協医科大学病院
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・越谷市立病院
- ・春日部厚生病院
- ・越谷市夜間急患診療所
- ・越谷ハートフルホスピタル
- ・東埼玉総合病院
- ・北辰病院

当院のキーワード

◎研修に適した環境◎

当院は2つの駅から徒歩3分と交通アクセスがよく、県内外から多くの患者さまがいらっしゃいます。大学病院でありながら市中病院の役割も担い、最先端医療から一般的疾患まで幅広い症例を経験できます。初期研修プログラムも、各医局に入ってからでは経験できない、多くのことを学んでいただけるよう工夫しています。現在、200床の増床を予定して工事が進められており（平成30年完成予定）、将来ますますの発展も期待できます。

研修医には他大学出身者も多く、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、助け合い、切磋琢磨しています。また、ほとんどの研修医はオン・オフの切り替えがうまくできており、のびのびと研修しています。

◎初期臨床研修修了後の進路◎

初期研修後も、毎年9割以上が当院での後期研修を選択しています。

また、当院では大学院医学研究科の専攻分野を開設しており、希望者は社会人大学院制度を利用して、勤務しながら大学院生として研究を行い、学位（医学博士）の取得も可能です。



研修責任者から

当院は埼玉県東部地区に位置し、千葉県西部地区を併せて約180万人の基幹病院として地域医療の重要な役割を果たしております。現在723床ですが、平成30年には総合周産期母子医療センターの設置と救急医療の充実等の為に、200床を増床し、923床としてリニューアル致します。リニューアル後には100人の研修医専用のフロアを確保予定です。



臨床研修センター長
上田 善彦

当院では、研修医の皆さんはもとより、各診療科の指導医の先生方、プログラム責任者の先生方からの提言をいただきながら毎年システムの改良、進化に取り組んでおります。研修医向けのカンファレンスもほぼ毎週実施されており、臨床各科の実践的な重要ポイントをわかりやすく解説していただいています。また、他大学の卒業生も多く、先生方との交流会などで研修医の先生方の問題点や疑問点の解決に努めております。

是非、あなたも獨協医科大学越谷病院で卒業研修を行ってみませんか。

先輩研修医から

私が獨協医科大学越谷病院で研修する中で感じた良い点をいくつか上げると、まず、大学病院ならではの専門性の高い疾患からcommon diseaseまで、幅広い症例を経験できることです。症例数も研修医の数に比べ十分にあるので、希望すれば診たい患者さんを指導医の先生と一緒に診ることができます。



研修医1年目
増永 菜

次に、大学病院であるため指導体制が整っており、ローテーション中の診療科での講義や勉強会、ほぼ毎週ある研修医向けの勉強会に自由に参加できます。手技も、先生に見守られながら多く経験でき、指導を受けられます。

さらに、研修医は獨協出身者と他大出身者が約半分ずつおり、出身大学に関係なく楽しく研修生活を送っています。私も獨協出身ではありませんが、日々楽しく過ごしています。他にも立地が良かったり、選択できる科が多かったり、お給料が良かったりなど良い所はたくさんありますが、説明しきれないのでぜひ一度見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週3回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修）の身分を保持したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。

（女性医師支援センターサイト：<http://www.dokkyomed.ac.jp/jyoseishi-k/index.html>）



連絡先

獨協医科大学越谷病院

臨床研修センター 松島 稔

〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50

TEL 048-965-7842(直通) FAX 048-965-9356

E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL <http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/>

アクセス
・JR武蔵野線 南越谷駅下車徒歩3分
・東武スカイツリーライン 新越谷駅下車徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学のお申込み手順

- 1) 左記URLよりサイトへアクセス
- 2) 専用の用紙をダウンロード
- 3) メール又はFAXでお申込み

※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。

●Facebookページ：

<https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu/>

自治医科大学 附属さいたま医療センター

病院の概要



- **病床数** 608床
- **医師数（研修医を除く）** 275名（うち指導医数 65名）
- **研修医数** 1年目 24名 2年目 22名
- **研修医の主な出身大学** 日本大学・日本医科大学・帝京大学・筑波大学・昭和大学・東京医科大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・群馬大学・新潟大学・大分大学・自治医科大学
- **診療科** 内科 循環器科 小児科 精神科 病理診断科 外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 産婦人科 皮膚科 リハビリテーション科 麻酔科 放射線科 歯科口腔外科 救急科
- **1日平均外来患者数** 1358名 ● **1日平均入院患者数** 489名
- **主な認定施設** 労災指定病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、救命救急センター

研修プログラムの特色

「患者にとって最善の医療をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とその実践を目標としています。これまでもスーパーローテーションに近い多科研修を行ってきましたが、研修が義務化された2004年度以降においても従来の経験を生かし、かつ厚生労働省の基準案に従ったスーパーローテーション方式による臨床研修を行い、これによって幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成しています。

当センターは幸い多くの患者様に信頼されており、その診療を通して幅広い豊富な臨床経験を積むことができ、かつ総合的な視野に立った医師を養成することが可能です。日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけるとともに、医師としての人格を涵養することを目指してプログラムを設定しています。



プログラム 例 一般プログラム（募集定員22人）内科系志望者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科1		内科2			内科3		救急		産婦人科		
2年目▶	地域医療	外科	麻酔科		小児科		内科4		選択			

オプションでは精神科、臨床検査科、放射線科、CCU、ICU、各診療科などから自由に選択できます。

その他 小児科プログラム（募集定員2人） 産婦人科プログラム（募集定員2人） ホスピタリスト重視プログラム（募集定員2人）

研修医の処遇

- 給与▶約390万円／年（宿日直手当、期末手当含む）
- 諸手当▶地域手当、医師手当、宿日直手当、期末手当
- 保険▶日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金）、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時30分～17時15分
- 当直▶あり（約4回／月）
- 休暇▶2回／週休2日（土・日）、有給休暇 約30日／年
- 宿舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・自治医科大学附属病院
- ・さいたま市民医療センター
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・南魚沼市民病院
- ・秩父市立病院
- ・小鹿野中央病院

当院のキーワード

●レジデントのある1日

- 6:30 病院着
 8:00 モーニングカンファレンス
 9:00 病棟業務（処置当番・患者診療・検査等）
 12:00 職員食堂での昼食 →→→→→ Fujimoto教授（米国ワシントン州立大学内科名誉教授）が年6回来日し、2週間の滞在中、昼休みに、英語で実施されるEBMを重視した臨床推論のカンファレンスが行われます。また、レジデントとマンツーマンのClinical Clerkshipが適宜行われます。
 13:00 病棟業務
 14:00 病棟教授回診
 15:00 処方・検査オーダー・カルテ記載・上級医とのディスカッションなど
 16:00 総合回診（毎週水曜日） →→→→→→→→→ 総合回診はレジデントがケース・プレゼンテーションを行い、臨床推論を重視して参加者との双方向性の討論がなされます。1症例に30分をかけて、プロブレムリスト、鑑別診断、必要な検査を検討した後、Q&A方式の考察が発表されます。
 17:00 患者診察・カルテ記載・ディスカッション、担当患者のサマリー記載、プレゼン準備、その他

* 初期研修医はシミュレーションセンターにて実地臨床開始前トレーニングを行っています。機器の貸出も可能であり、レジデントにとって有意義な実習となっています。



研修責任者から

自治医科大学附属さいたま医療センターは開院以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れて今日まで来ました。研修指導は屋根瓦方式を遵守することで軽微な内容から高度な指導まで可能となるきめ細やかな指導体制をとっています。厚生労働省が提唱する初期臨床研修期間中に経験すべき症例は無論のこと研修医が希望する研修内容を個別に取り入れ柔軟に対応できるプログラムを用意していますので充実した臨床研修ができます。



卒後臨床研修室長
菅原 斉

当センターの初期研修医は全国から集まっているのが特徴ですが、様々な情報を各研修医間で共有でき、研修プログラムの改善へ向けての卒後臨床研修室との意見交換を通じて常に研修内容の改訂を検討しています。また、指導医の陣容に関しても豊富な経験と業績を持つ教授・准教授スタッフなどの教職員が揃っており、皆さんの研修を支援します。

先輩研修医から

当センターにおける研修で必ずや得られるメリットをご紹介します。
 ・2016年度より救急が三次救急対応となり、救急初療にて今まで以上に幅広い患者層を診療することになりました。現在の救急では、内科の基礎だけでなく、重症内科疾患や新たに外傷患者の診療方法など実践を通し学ぶことができるため、積極性あふれるあなたにはたまらない日々が過ごせます
 ・自治医科大学という特徴もあり、大学病院でありながら、研修医の出身大学は様々であるため、新たな出会いや環境に恵まれ、好奇心の強いあなたには刺激であふれた日々が過ごせます。
 ・大宮という立地は、自由気ままなあなたの余暇を無限に広げるでしょう。



ジュニアレジデント
篠田 大悟

女性医師支援コーナー

次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないように就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務（所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮）と、医師対象の短時間勤務（週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ）があります。現在までに延べ27名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。更に、育児中は（申請により）当直を免除するなど配慮しています。

連絡先

自治医科大学附属さいたま医療センター

卒後臨床研修室

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847

TEL 048-648-5225(代表) FAX 048-648-5166

E-mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp

URL http://www.jichi.ac.jp/center/sotsugo/index.html

アクセス JR大宮駅東口からバスで約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- レジナビフェアに埼玉県ブースで出展しています(3月、7月)。
- 研修内容説明会を開催しています(7・8月)。
- 病院見学は随時受け付けています。当センターホームページ(卒後臨床研修室のページ)をご覧ください。

病院の概要

- 病床数 372床
- 医師数（研修医を除く） 75名（うち指導医数 17名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 5名
- 研修医の主な出身大学 北里大学
- 診療科 内科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科
腎臓内科 内分泌・代謝内科 膠原病・感染内科 腫瘍内科
精神科 小児科 外科 消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科
整形外科 形成外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
放射線科 麻酔科 内視鏡科 救急科 総合診療科 病理診断科（全30科）
- 1日平均外来患者数 750名 ● 1日平均入院患者数 248名
- 主な認定施設 ・災害拠点病院 ・埼玉DMAT・埼玉SMART（特別機動援助隊）指定病院
・厚生労働省 臨床研修指定病院 ・日本医療機能評価機構認定病院
・地域医療支援病院
※その他各種学会の研修・認定施設（現在36認定施設）



研修プログラムの特色

臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。

1年次は、内科、麻酔科、救急科及び選択必修科目（外科、産婦人科、小児科、精神科のうち1科目）。2年次は、総合内科系コース及び外科系コースの2コースからの選択となり、両コースとも自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。



プログラム例 北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム（募集定員5人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急科			麻酔科		選択必修
2年目(総合内科系コース)	内科						自由選択					地域医療
2年目(外科系コース)	外科						自由選択					救急科 地域医療

〈1年次〉 内科6か月、救急外来3か月、麻酔科2か月、選択必修1か月（外科、産婦人科、小児科、精神科のうち1科目を選択）

〈2年次〉 総合内科系コース及び外科系コースから選択。

①総合内科系コース 内科5か月、地域医療1か月、自由選択6か月

②外科系コース 外科5か月、救急科1か月（東京ベイ浦安市川医療センター）、地域医療1か月、自由選択5か月。

両コース共に自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学東病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において原則として1か月単位で選択し協力病院との調整により決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

研修医の処遇

- 給与 ▶ 1年次：約30.2万円／月 2年次：約33.77万円／月、賞与1年次：20万円 2年次：40万円 ※変動あり
- 諸手当 ▶ 住宅手当、宿日直手当、救急手当等
- 保険 ▶ 私学共済保険、私学共済年金、労災補償保険、雇用保険
- 勤務時間 ▶ 8時30分～17時
- 当直 ▶ あり（4回／月程度）
- 休暇 ▶ 日曜日、祝日、第2・第4土曜日、創立記念日（11月第一土曜日）、年末年始（12月29日～1月3日）、有給休暇（1年次：12日 2年次：16日）、夏季5日、その他慶弔時
- 宿舎 ▶ あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・北里大学病院
- ・北里大学東病院
- ・北里大学 北里研究所病院
- ・埼玉県済生会鴻巣病院
- ・東京ベイ・浦安市川医療センター
- ・渡辺医院
- ・サンビレッジクリニック鴻巣

当院のキーワード

スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。不安な手技は上級医師が直接指導します。

- 例) 輸液療法・ルート・ポンプの扱い方 (主催：看護部)
- 日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム (主催：放射線部)
- 検査技師による採血指導 (主催：検査部)
- 血液像の読み方 (主催：検査部)
- 抗菌療法のABC (感染管理室)・・・等々

当院は全診療科の医師が1つの医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションをとれるよう工夫しています。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談やコンサルをお願いしやすい」と研修医から好評です。

医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。



研修責任者から

当院のプログラムでは、地域医療機関との連携のもとプライマリケアを中心に初期研修を行っています。また、北里グループとして高度先進医療を提供する北里大学病院、回復期・緩和医療の北里大学東病院、都市型市中病院・予防医学の北里研究所病院と研修医のさまざまなニーズに応えるべく、協力体制を整えております。



臨床研修センター長
坂東 由紀

チーム医療の推進も行っており、院内のさまざまなチームによって、患者の皆様の日線に立った医療を行っています。指導体制も指導医だけではなく看護師をはじめメディカルスタッフ、事務など、多くのスタッフで皆様の研修をサポートしています。

もちろん初期だけではなく後期研修やその先まで含めた医師としてのキャリアを目指すことが出来ます。(動物介在医療にも取り組んでいます。写真は主役のハイクくん。)

先輩研修医から

当院は大学病院の専門性を兼ね備え、埼玉圏央地域に根付いた病院でありcommon diseaseから専門性の高い疾患まで幅広い症例を経験できます。救急外来では軽症から重症まで様々な症例がみられます。generalな臨床能力を身につけたい方には最適な環境です。大学病院よりも規模が小さく少人数な分、先生方やメディカルスタッフとの距離が近く、毎日様々な方からご指導頂いています。また、2年次は神奈川県北里大学病院での研修も可能であり、個々のニーズに合わせた研修プログラムを組めます。



研修医1年目
安達 みずほ

豊かな緑に囲まれた病院で、心温かいスタッフと共にお待ちしております！是非一緒に働きましょう！！

女性医師支援コーナー

※短時間勤務制度あり

※保育園「オレンジハウス」

豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。

夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。



連絡先

北里大学メディカルセンター

人事課教務係

〒364-8501 北本市荒井6-100

TEL 048-593-1212(代表) FAX 048-593-1239

E-mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp

URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/>

アクセス JR高崎線北本駅からバス約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学 随時受付中です。
お気軽にご連絡ください。

病院の概要

- 病床数 829床
- 医師数（研修医を除く） 361名（うち指導医数 128名）
- 研修医数 1年目 30名 2年目 21名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・聖マリアンナ医科大学・川崎医科大学・長崎大学・帝京大学・佐賀大学・東京医科大学・日本大学・藤田保健衛生大学
- 診療科 血液内科 リウマチ膠原病科 呼吸器内科 消化器内科 肝臓内科 内分泌内科 糖尿病内科 神経内科 脳卒中内科 腎臓内科 総合診療内科 感染症科 感染制御科 消化器 一般外科 乳腺腫瘍科 小児外科 麻酔科 小児科 新生児科 産科 婦人科 整形外科 脊椎外科 眼科 耳鼻咽喉科 神経耳科 皮膚科 脳神経外科 形成外科 美容外科 泌尿器科 リハビリテーション科 神経精神科 心療内科 放射線科 放射線腫瘍科 核医学診療科 中央病理診断部 輸血 細胞移植部 健康管理センター 東洋医学診療科 歯科 口腔外科 急患センター（ER）
- 1日平均外来患者数 1893.5名 ● 1日平均入院患者数 782.2名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、特定機能病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院



研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科について“自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れる”当院で最も人気のあるプログラムです。本学の違った特色を持つ3つの大学病院（総ベッド数2,500）の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。

研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと研修内容は一緒ですが、研修を行うと同時に大学院に入学することが可能で、研修を行いながら、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。

総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランス良く診療科を経験でき、プライマリケア医としての対応能力に優れた“総合医”の育成を目指します。

周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導を行います。

外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。



プログラム例 埼玉医科大学 3病院自由選択プログラム（募集定員35人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	導入研修	内科研修（6か月）						救急研修（3か月）			選択必修研修（2か月）	
2年目▶	地域医療研修	自由選択研修（11か月）										

※1年目 必修研修として内科6か月間、救急部門3か月間、選択必修研修（外科、産婦人科、小児科、精神科、麻酔科のうち2診療科を選択し各々1か月間）

※2年目 地域医療研修1か月間、それ以外11か月間は自由選択研修（最終月は埼玉医科大学病院において研修）

- その他 埼玉医科大学 研修マインド育成自由選択プログラム（募集定員6人）
 埼玉医科大学 総合医育成広域連携病院自由選択プログラム（募集定員7人）
 埼玉医科大学 周産期・成育医療専門医自由選択プログラム（募集定員4人）
 埼玉医科大学病院 外科系プログラム（募集定員3人）

研修医の処遇

- 給与▶約25万円/月
- 諸手当▶日当直手当
- 保険▶公的医療保険、公的年金、労災保険、雇用保険
- 勤務時間▶8時30分～17時30分
- 当直▶あり 4回/月（診療科により、多少異なります）
- 休暇▶原則、1月9休制の1か月単位の変形労働制
有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶あり（0.7万円/月、光熱水費込）
- その他▶白衣貸与（クリーニングは病院負担）研修医個人専用の机、ロッカー、シャワールーム、当直室完備、電カル、共用PC（インターネット接続可能）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・長崎県4施設
- ・北海道2施設
- ・新潟病院
- ・たむら記念病院（千葉県）
- ・越生メディカルクリニック
- ・岡村記念クリニック
- ・小川産婦人科・小児科
- ・新渡戸記念中野総合病院（東京都）
- ・丸木記念福祉メディカルセンター
- ・シャローム病院

当院のキーワード

埼玉医科大学病院の特徴

埼玉医科大学病院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担っていると同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接しており、人口も725万人を数え首都圏に位置し多くの患者さんが来院されます。大学病院の専門性の高い疾患からプライマリケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。埼玉医科大学病院には新しい専門医制度にマッチした総合診療内科やアイセンター、難病外来等特徴ある診療科も充実しています。またスキルスラボや臨床研修医のための施設も充実しており、より良い環境豊かな自然と1時間で東京に行けるアクセスの良さで研修が可能です。

大学病院3病院で2500床、さらに3病院の連携の良さは皆さんに最高の研修環境を提供いたします。皆さんは、この3病院から自分の目的にあった診療科での研修を組むことができます。また、セキュリティ完備の研修医室、そこには研修医専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。熱心な指導医と臨床研修センターも自慢です。



研修責任者から

研修医諸君！埼玉医科大学病院は君たちを待っています！

初期研修の目的は「患者さんを全人的に診療するための基本的な能力を身に付け、プライマリケアに対応できる総合診療能力を養う」ことにあります。初期臨床研修に携わる2年間は将来の臨床医としての能力を左右する、最も重要な期間です。



研修管理責任者
中元 秀友

埼玉医科大学病院は、地域に根ざした重要な基幹病院であり、たくさんの患者さんが来院されます。また大学病院として、最先端の医療を実践しています。そしてたくさんの指導医が、熱心に研修医諸君の臨床研修、研究等に協力してくれます。豊富な症例と熱心な指導医の下、充実した臨床研修ができることを保証します。確実に実力が付く研修施設なのです。また緑あふれる自然と1時間で東京に行けるアクセスの良さは、最高の研修環境を提供してくれます。セキュリティ完備の研修医室には研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。是非とも一度見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から

①埼玉県出身であり地元に戻るつもりである。②指導医・症例の豊富な病院で研修をしたい。③大学院へ進むことも考え内部から実情を知りたい。という3点から埼玉県内の大学病院をレジナビブース訪問や病院見学し調べました。最終的には、3病院自由選択プログラムによって自由度の高い研修ができ、自分と合っていると感じたので当院で研修することにしました。



研修医2年目
山崎 将吾

現在、全国の様々な大学出身者と埼玉医科大学出身者が、まるで学生時代の6年間を共に過ごしたかのようなアットホームさの中で研修生活を送っています。

また、3病院の中から希望した科で数多くの症例・手技を経験し、指導医と治療方針に関して議論することで、非常に勉強になっていると感じます。

その一方で、適度な当直数・休假日数がありQOLも確保されています。埼玉に縁のある方も無い方も、是非一度大玉医科大学病院の見学にお越しください！

女性医師支援コーナー

埼玉医科大学病院では院内保育園を設置しており、医師が短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度があります。また、女性医師部門では女性医師に関する情報提供、アンケートの実施、シンポジウム開催等の活動を行っています。さらに、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報を提供し、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で、女性医師就業継続支援窓口を設け各病院に担当者を配置しており、女性サポートに関する相談であれば、男性の相談も受け付けています。

連絡先

埼玉医科大学病院

臨床研修センター事務室

〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL 049-276-1862(直通) FAX 049-276-2149

E-mail kenshui@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html>

アクセス JR八高線毛呂駅から徒歩3分/東武越生線東毛呂駅から徒歩20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学（随時受付）

当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日2週間前までに臨床研修センター事務室へE-mail（添付）又は郵送でお申し込みください。

病院の概要

- 病床数 1053床
- 医師数（研修医を除く） 381名（うち指導医数 118名）
- 研修医数 1年目 15名 2年目 25名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・信州大学・川崎医科大学・日本大学・群馬大学・昭和大学・ペーチ大学・センメルweis大学
- 診療科 消化器・肝臓内科 内分泌・糖尿病内科 血液内科
リウマチ・膠原病内科 心臓内科 呼吸器内科 腎・高血圧内科
神経内科 神経精神科 小児科 新生児科 消化管外科・一般外科
肝胆膵外科・小児外科 血管外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科
心臓血管外科 整形外科 形成外科・美容外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 産科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 産科麻酔科 高度救命救急センター 救急科（ER）
輸血・細胞治療部 病理部
- 1日平均外来患者数 2144名
- 1日平均入院患者数 869名
- 主な認定施設 高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床修練指定病院



研修プログラムの特色

当院には、内科領域の研修を重視した『総合内科系プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期成育プログラム』、外科領域と救急医療の研修を重視した『総合外科系プログラム』、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』があります。

4月の導入研修（オリエンテーションを含む）では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することが出来ます。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

毎月1回のCPCの他に、ランチョンセミナーも月に2回開催し、必修項目に関連した講義を行っています。



プログラム例 総合内科系プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	導入	内科								選択必修	内科	
2年目▶	内科	救急	麻酔科	地域医療	自由選択			調整月	自由選択			

*【必修】内科11か月（うち3か月は協力型病院で研修可）、救急2か月（当直を1か月相当として合計3か月）、地域医療1か月

【選択必修】麻酔科2か月および外科、産婦人科、小児科、精神科のうち2科以上

【自由選択】5か月（5か月のうち1か月を調整月とし、2週間単位で研修可）

その他 周産期成育プログラム（募集定員8人） 総合外科系プログラム（募集定員6人）

埼玉医科大学3病院自由選択プログラム（募集定員36人） 研究マインド育成自由選択プログラム（募集定員4人）

研修医の処遇

給与▶約25万円/月

諸手当▶宿日直手当

保険▶日本私立学校振興・共済事業団

勤務時間▶8時30分～17時30分

当直▶あり（平均4回/月）

休暇▶夏季休暇あり

宿舎▶あり（月額2万円）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・沖縄県立北部病院（附属診療所含む）
- ・沖縄県立宮古病院（附属診療所含む）
- ・秩父病院
- ・恵愛病院
- ・康正会病院
- ・富家病院
- など

当院のキーワード

大学病院から離島まで

平成27年7月に管理棟が完成し、2階に研修医用フロアが整備されました！

約400平方メートルの広い研修医室に個人用デスクを用意しており、ネットワーク環境も整っています。

もちろん、当直室や更衣室も完備しています。

同じ建物の1階には女子栄養大学との提携メニューを提供する「健康レストラン鴨田」、パスタなどの軽食も取り扱うコーヒーショップ「KEY'S CAFE」や「ローソン」も入っています。

「ローソン」は24時間営業ですので、当直時にも困ることはありません。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院（同附属診療所）、沖縄県立宮古病院（同附属診療所）での研修を2ヶ月間選択することができます。（往復の交通費及び宿泊費（上限あり）の補助があります。）

実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評を得ています。



研修責任者から

当院の初期臨床研修では、地域医療に有用な幅広い臨床能力を持つ臨床医の育成を目指しています。救急外来を指導医とともに担当し、実践の中で初期対応を習得してもらいます。さらに地域医療研修中には離島診療を体験してもらい、スタッフや施設の揃わない状況の中で医師として何が必要かを学んでもらいたいと考えています。



副院長、研修管理委員長
屋嘉比 康治

研修内容については、できるだけ実臨床に役立つ代表的な疾患や症状に集約し、学んだことが拡散せず、身につけていくような目標設定としました。これらの研修を通じて、すべての研修医が地域医療を担える臨床医へ育つことを期待しています。

先輩研修医から

当院では、内科研修中に月3～5日の時間外当直があり、指導医のサポートを受けながら、あらゆる内科的症状の診察・検査・診断・治療までを経験できます。

私は「研究マインド育成自由選択プログラム」で研修していますが、埼玉医科大学総合医療センターに所属しながらグループ施設（埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター）での研修もでき、更に社会人大学院生として初期研修を行うことができます。

研究や学位に少しでも興味のある人にはお勧めです。



研修医1年目
西村 博明

女性医師支援コーナー

- ・院内保育所の設置
- ・非常勤I類制度（短時間勤務）
- ・女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター女性医師部門）



連絡先

埼玉医科大学総合医療センター

臨床研修センター

〒350-8550 川越市鴨田1981

TEL 049-228-3802(直通) FAX 049-228-3802

E-mail kensi@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/kawagoe/kensyui/index.html>

アクセス 東武東上線、JR川越線 川越駅からバス25分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けています。
- 当院ホームページに掲載の申込書を入力し、メールに添付してお申し込みください。

病院の概要

- 病床数 700床
- 医師数（研修医を除く） 269名（うち指導医数 97名）
- 研修医数 1年目 12名 2年目 9名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・香川大学・日本大学・東京医科大学・日本医科大学
- 診療科 脳脊髄腫瘍科 小児腫瘍科 小児外科 造血器腫瘍科
婦人科腫瘍科 泌尿器腫瘍科 乳腺腫瘍科 皮膚腫瘍科
骨軟部組織腫瘍科 頭頸部腫瘍科 形成外科
原発不明・希少がん科 緩和医療科 精神腫瘍科 放射線腫瘍科 病理診断科 消化器内科 消化器外科 呼吸器内科
呼吸器外科 心臓内科 不整脈科 心臓血管外科 小児心臓外科 小児心臓科 心臓リハビリテーション科 救命救急科
総合診療・地域医療科 脳卒中内科 脳卒中外科 脳血管内治療科 小児救急科 画像診断科 核医学科
運動・呼吸器リハビリテーション科 麻酔科 集中治療科
- 1日平均外来患者数 694.2名 ● 1日平均入院患者数 655.8名
- 主な認定施設 日本内科学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、
日本脳神経外科学会専門医認定制度に基づいた研修プログラム認定、日本救急医学会救急科専門医指定施設、
日本麻酔科学会医療法に基づく麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院、
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関



研修プログラムの特色

当院には、埼玉医科大学の3つの病院が近いことを生かし、将来、ジェネラルとしても、エキスパートとしても医療現場で活躍できるプログラムがあります。

- ◇3病院自由選択プログラム（定員14）は本学3病院のすべての診療科を研修医が自由に選択することができる、もっとも自由度が高いプログラムです。
- ◇研究マインド育成自由選択プログラム（定員3）は臨床研修と大学院を同時期に学べるプログラムで、研修開始時には大学院の入学試験に合格しておく必要があります。
- ◇特設外科系プログラム（定員3）は多彩な症例を通じて多くの手技を経験し、適切な判断ができる外科系医師を育成することを第1目標とするプログラムです。



プログラム 例 埼玉医科大学3病院自由選択プログラム（募集定員14人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	導入研修	内科					救急			選択必修		
2年目▶	地域医療	自由選択								調整月	自由選択	

- 導入研修：1年目の4月にオリエンテーションを兼ねて当院で行う。
- 選択必修：外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科より2科を選択して1か月ずつ計2か月間研修を行う。
- 自由選択：本学3病院および研修協力施設より選択できる。（最終月除く）
- 調整月：到達目標を達成するために充てる。（原則12月～翌年2月のうちの1か月間）
- 地域医療：1か月を週単位にて4週に分け、最大4施設、最小1施設を選択することができる。

その他 埼玉医科大学国際医療センター研究マインド育成自由選択プログラム（募集定員2人）

埼玉医科大学国際医療センター特設外科系プログラム（募集定員3人）

研修医の処遇

- 給与▶基本給25万円/月
- 諸手当▶日当直手当
- 保険▶健康保険：日本私立学校振興・共済事業団、年金：日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険：加入、労災保険：加入、医師賠償保険：個人加入
- 勤務時間▶8時30分～17時30分
- 当直▶あり：4回/月（診療科により、多少異なります）
- 休暇▶9回/月（変形労働時間制）。有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿舎▶あり（月額2万円、光熱水費、駐車場代、リネンサービス込）
- その他▶白衣貸与（クリーニングは病院負担）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 埼玉医科大学病院
 - ・ 埼玉医科大学総合医療センター
 - ・ 宮古島徳洲会病院
 - ・ 秩父病院
 - ・ シャローム病院
 - ・ 岡村記念クリニック
 - ・ 熊谷総合病院
 - ・ 行田総合病院
 - ・ 小川産婦人科・小児科
 - ・ 瀬戸病院
- など

当院のキーワード

当院での研修の魅力！

魅力1：症例の質・量ともに抜群の研修環境

大学病院のメリットと地域医療を担う病院のメリットの両方を受けながら、充実した指導陣、協力的なコメディカルスタッフなど、内科研修にとって大切な環境が揃っている中で研修ができます。

魅力2：国内屈指のスペシャリスト集団

早い時期から多くの手術、多彩な手技が経験でき、適切な判断のできる外科医の育成を、病院全体として目指しています。専門医取得まで初期、後期一貫教育を行い、広い見識を得るための幅広いローテーションが可能です。

魅力3：すべての救急を短期間で効率よく診ることができる

初期、二次、三次、そして集中治療室まですべての救急を網羅している医療機関は限られています。あらゆる救急を短期間で効率よく診ることができ、その経験と知識は今後の大きな糧となるはずです。

内科、外科共に国内屈指の症例数があり、世界に引けを取らない最先端医療が整っていることが最大のポイントです！



研修責任者から

当院は、がん、心臓病、脳卒中を含む救命救急に特化した病院であり、初期研修医とその後の後期研修医（シニアレジデント）の教育にも力を注いでいます。

将来、スーパードクターを目指す人、開業を考えている人、臨床のみ

ならず研究分野でも活躍したい人、症例の多い病院で経験を積みたい人、学位取得を希望される人など…様々なニーズに応えられる研修環境が整っています。

それぞれの診療科が非常に高い専門性を有し、最先端の医療を提供しているのが当院の最大の特徴です。各診療科では自分の目標となるような医師がきっと見つかります。当院での研修が、皆さんの今後のキャリア形成の礎となるよう責任を持って支援いたします。



副院長、研修管理委員長
鈴木 孝明

先輩研修医から

私が当院を研修病院として選んだ理由は、最先端の医療を学ぶことができること、そして研修体制が整っているからでした。日々の研修では、当院が担う地域の基幹病院としての役割を考え、患者さんの背景にも目を向けてそこに寄り添うことを心がけています。

各診療科の指導医・上級医の先生方は非常に教育熱心で、わからないことはどんなに忙しくても丁寧に解説してくれます。そして、週一回行われる研修医向けのセミナーでは、様々な分野の先生が臨床に則した講義をしてくれるのでとても勉強になっています。

普段の生活では、同期は出身大学に関わらず仲が良く、各々明確な目標や目的を持っていて、熱意があるためお互いに高めあえたり、大変な時は支えあったりして自然と良い関係が築けています。初期研修開始から1年が経過しようとしていますが、当院で研修することを決めてよかったと思っています。



研修医1年目
加藤 里絵

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師がキャリアを続けていける制度が充実しています。

医師の約1/3を女性が占める時代、その活躍を支援するため、産前・産後並びに育児休暇の取得後、一定の育児期間中は当直の免除や短時間勤務など柔軟に働くことが可能です。

また、院内託児所も整備されており、子供を預けながら臨床業務や研究に集中して取り組むことができます。

さらに、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター内）を設け、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報等の提供を行っています。



連絡先

埼玉医科大学国際医療センター

臨床研修センター

〒350-1298 日高市山根1397-1

TEL 042-984-0079(代表) FAX 042-984-0594

E-mail imckensh@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/>

アクセス J R川越線・八高線 高麗川駅（路線バス約10分）

東武越生線 東毛呂駅（路線バス約15分）

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。

当院所定の見学申込書に必要事項を記入のうえ、原則、見学希望日の2週間前までに臨床研修センターへE-mailでお申し込みください。見学希望日2週間前を過ぎた場合は、臨床研修センターへご相談ください。

埼玉県総合医局機構

平成25年12月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。



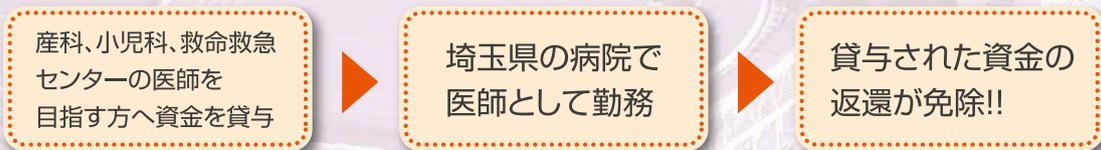
「医師の確保・派遣」のための取組

□ 「医師バンク」事業 ～県内100以上の医療機関が登録しています！～

埼玉県内の病院での勤務を希望する医師（指導医等）の方を、医師を募集している埼玉県内の病院・診療所に紹介し、医師と医療機関の出会いの機会をサポートしています。

□ 「臨床・後期研修医研修資金」貸与事業

～産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援！～



	臨床研修医研修資金	後期研修医研修資金
対象者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医
貸与金額	月額10万円以内	月額20万円以内
貸与期間	2年以内	3年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の1.5倍勤務すること	

□ 「交流会」事業

～埼玉県内での病院勤務に関心のある医学生はどなたでも参加できます！～

医学生と県内医療関係者が交流する機会を提供するため、「埼玉県総合医局機構交流会」を開催しています。交流会には、埼玉県内の中核病院の病院長や、県内医療機関で勤務する若手医師などが参加し、県の医療現場の現状や県内で勤務する魅力などについて意見交換をしています。



「医師の支援」のための取組

□ 「女性医師の支援」事業 ～埼玉県的女性医師を応援！～

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

- ◎相談窓口(受付時間 平日9:00～17:00)
埼玉県さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター内
- ◎電話相談窓口(受付時間 平日9:00～17:00)
TEL:048-815-7115 FAX:048-815-7175
電子メール:info@saitama-joi.jp



□ 地域医療教育センター ～県内の医師のスキルアップをサポートします！～

県内医療機関で勤務する医師を対象とした教育・研修施設である「地域医療教育センター」が、平成29年4月から、埼玉県立小児医療センターの8階に本格オープンします。

地域医療教育センターは交通の便の良い「さいたま新都心」に立地しています。また、各種シミュレーター機器により様々な専門スキルを学ぶ研修の実施が可能であり、臨床研修医としてスタートする皆さんのスキルアップをサポートします。



地域医療教育センター 教育・研修の基本方針(3本柱)

1

医師が不足している「産科」「小児科」「救急科」の人材育成

2

在宅医療や多職種によるチーム医療等の教育の実施

3

県内医療従事者向け研修の実施

整備を予定している主なシミュレーター・医療機器

- 高規格シミュレーター SimMan3G、SimJunior、SimBaby等
- 気管支・消化器内視鏡シミュレーター アクユタッチ
- 呼吸音聴診シミュレーター ラングII
- 超音波画像診断装置(通常型・ポータブル型) など各種シミュレーター・医療機器

【お問い合わせ先】

埼玉県総合医局機構(埼玉県医療整備課内)
TEL:048-830-3546 E-mail:a3530-05@pref.saitama.lg.jp

詳しくはこちら → <http://kobaton-med.jp/>





埼玉県のマスコット
「コバトン」「さいたまっち」

埼玉県臨床研修病院ガイドブック 2017

平成29年2月発行

■編集・発行

埼玉県 保健医療部医療整備課 医師確保対策担当
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL : 048(830)3546 FAX : 048(830)4802
E-mail : a3530-05@pref.saitama.lg.jp

ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/kenko/iryo/ishikakuho/index.html>

埼玉県 医師確保・支援

検索

